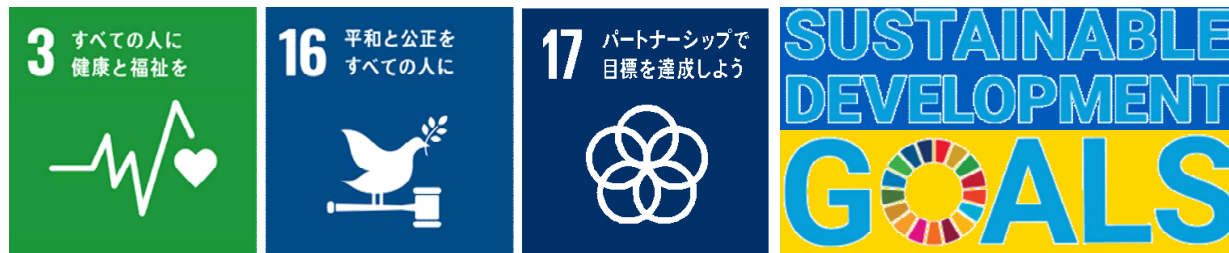
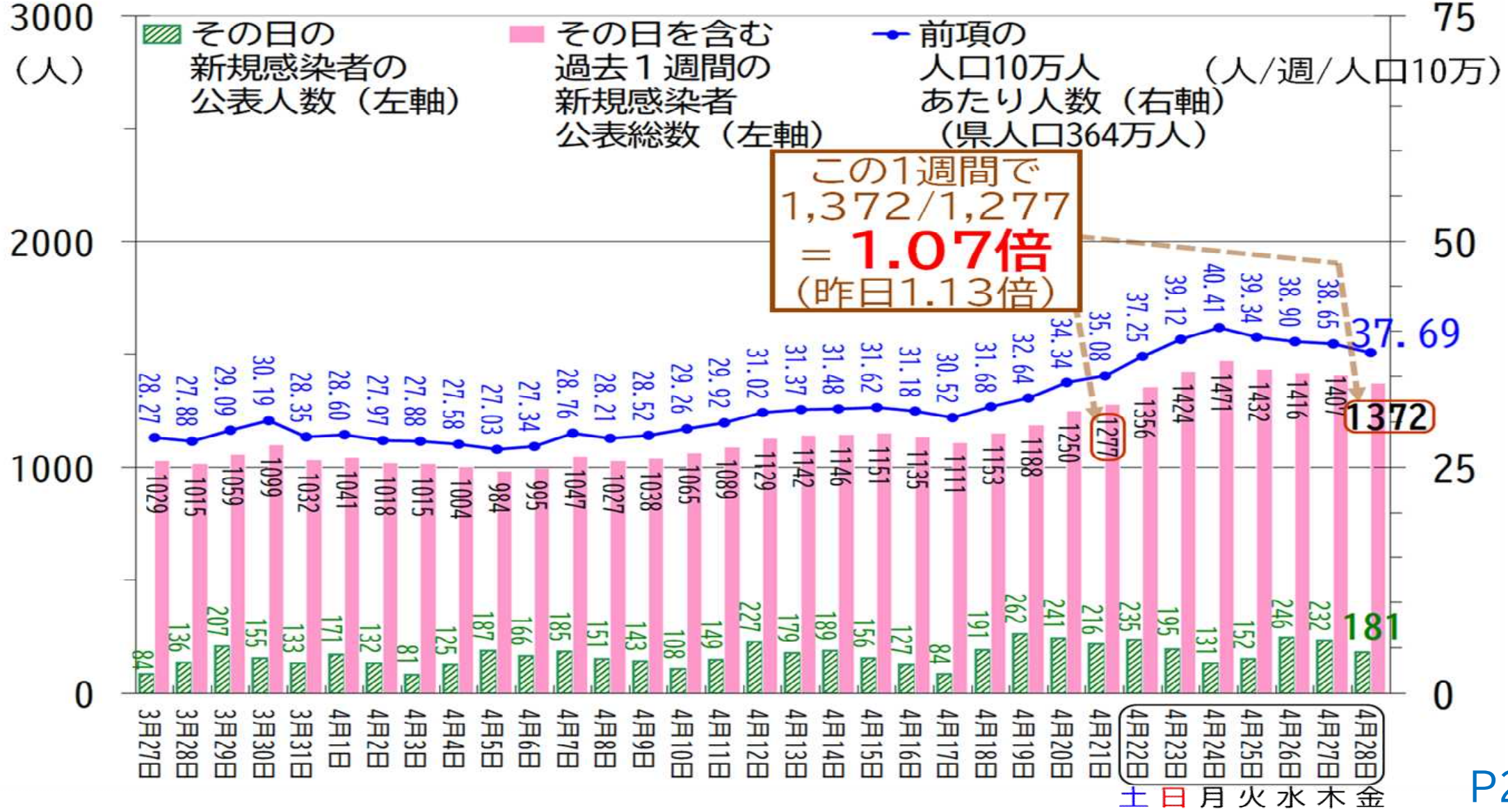


静岡県の 新型コロナウイルス感染症者 発生・入院等の状況 (2023年4月28日時点)



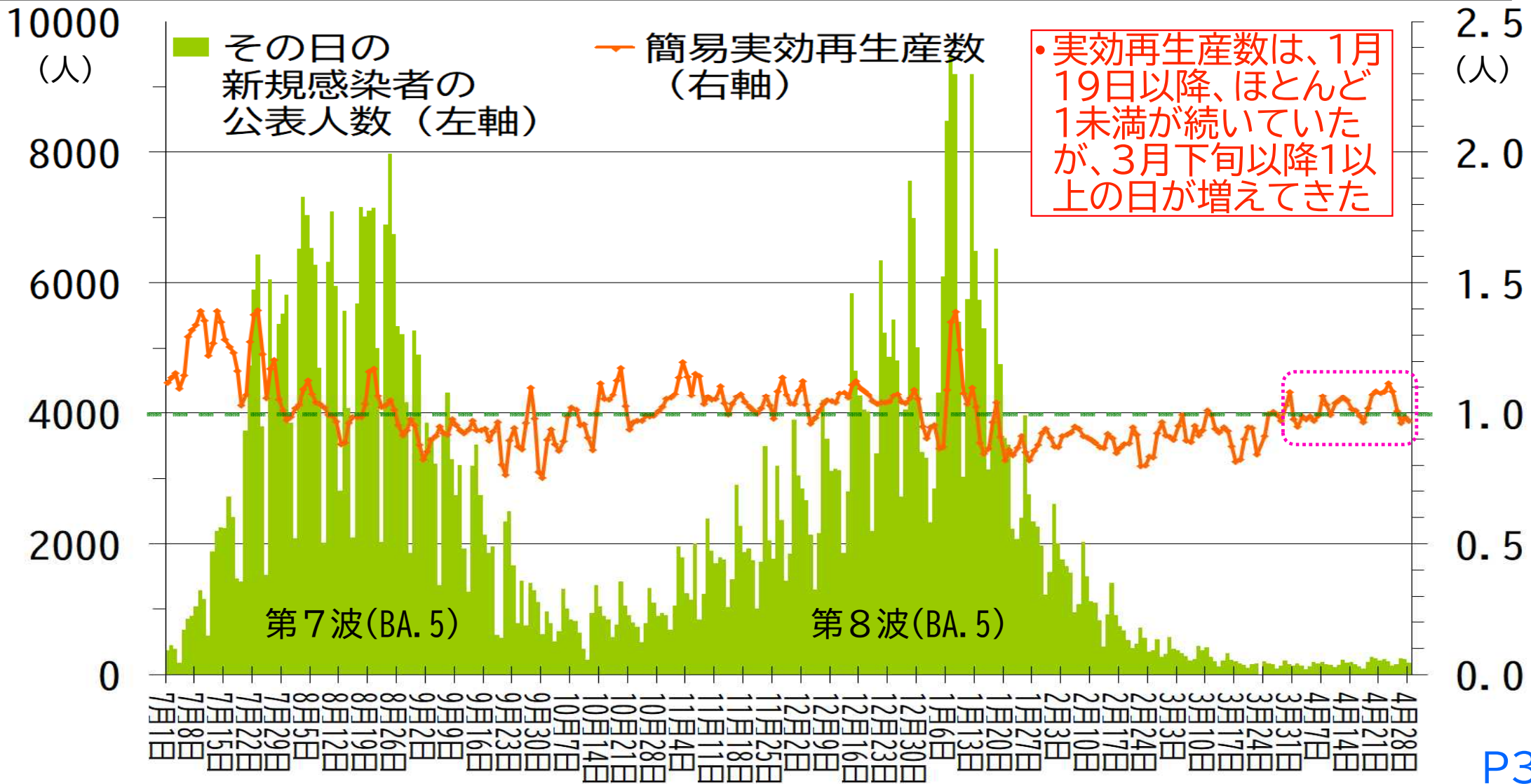
静岡県健康福祉部 新型コロナ対策 企画課 & 推進課

静岡県 直近1か月の新型コロナ新規感染者数の状況 《4/28時点》

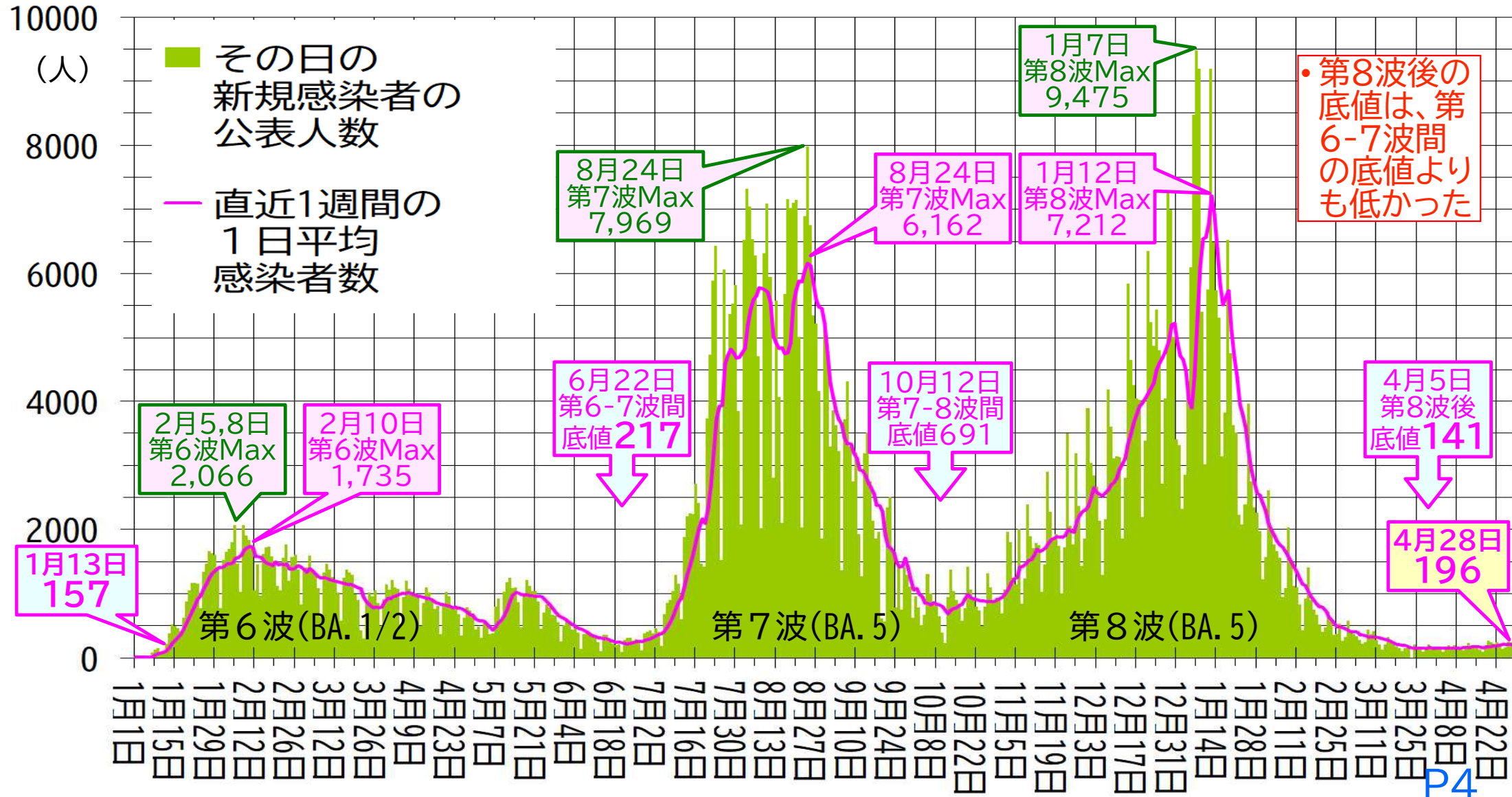


静岡県の新型コロナ新規感染者数と簡易実効再生産数 (2022. 7/1~2023. 4/28)

国立感染症研究所の報告に基づき、簡易実効再生産数を直近7日間の新規感染者数/(世代時間)日前7日間の新規感染者数とし、世代時間をオミクロン株で2日間として計算した

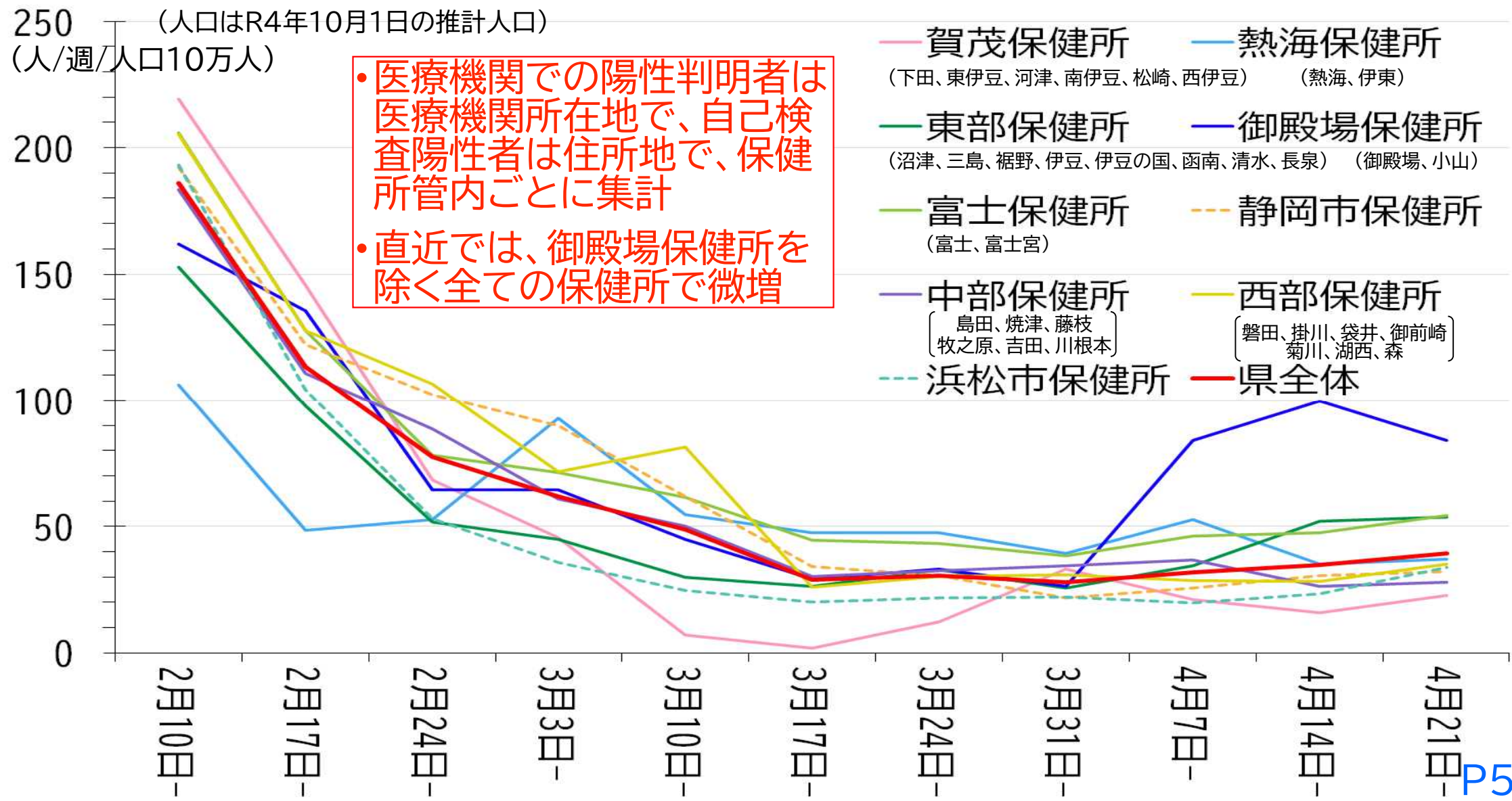


静岡県 第6波以降 オミクロン株感染者の状況 (2022.1/1~2023.4/28)



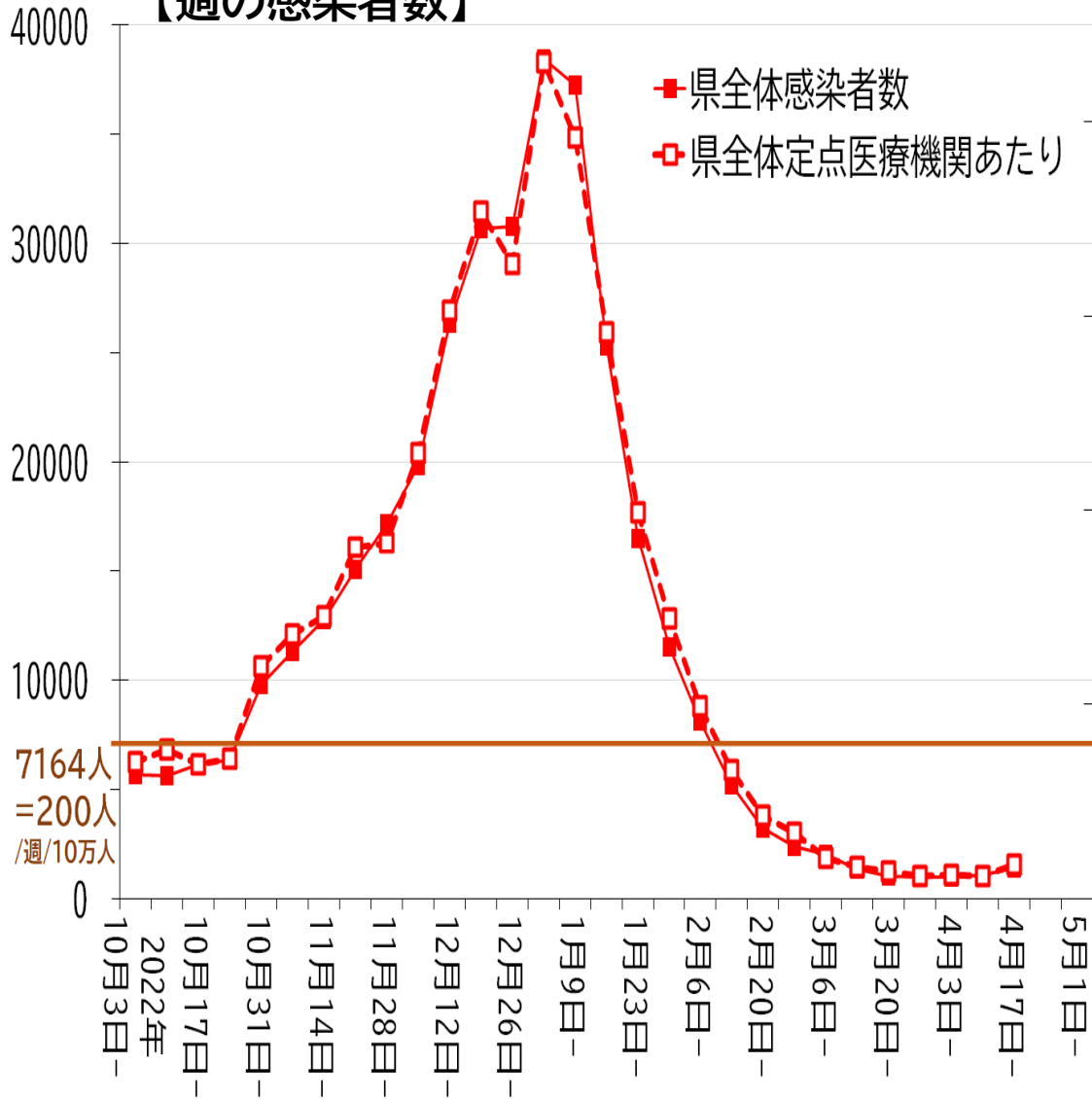
・第8波後の底値は、第6-7波間の底値よりも低かった

静岡県 保健所管内別 1週間人口10万人あたりコロナ陽性者数 (2022.9/30~2023.4/27)

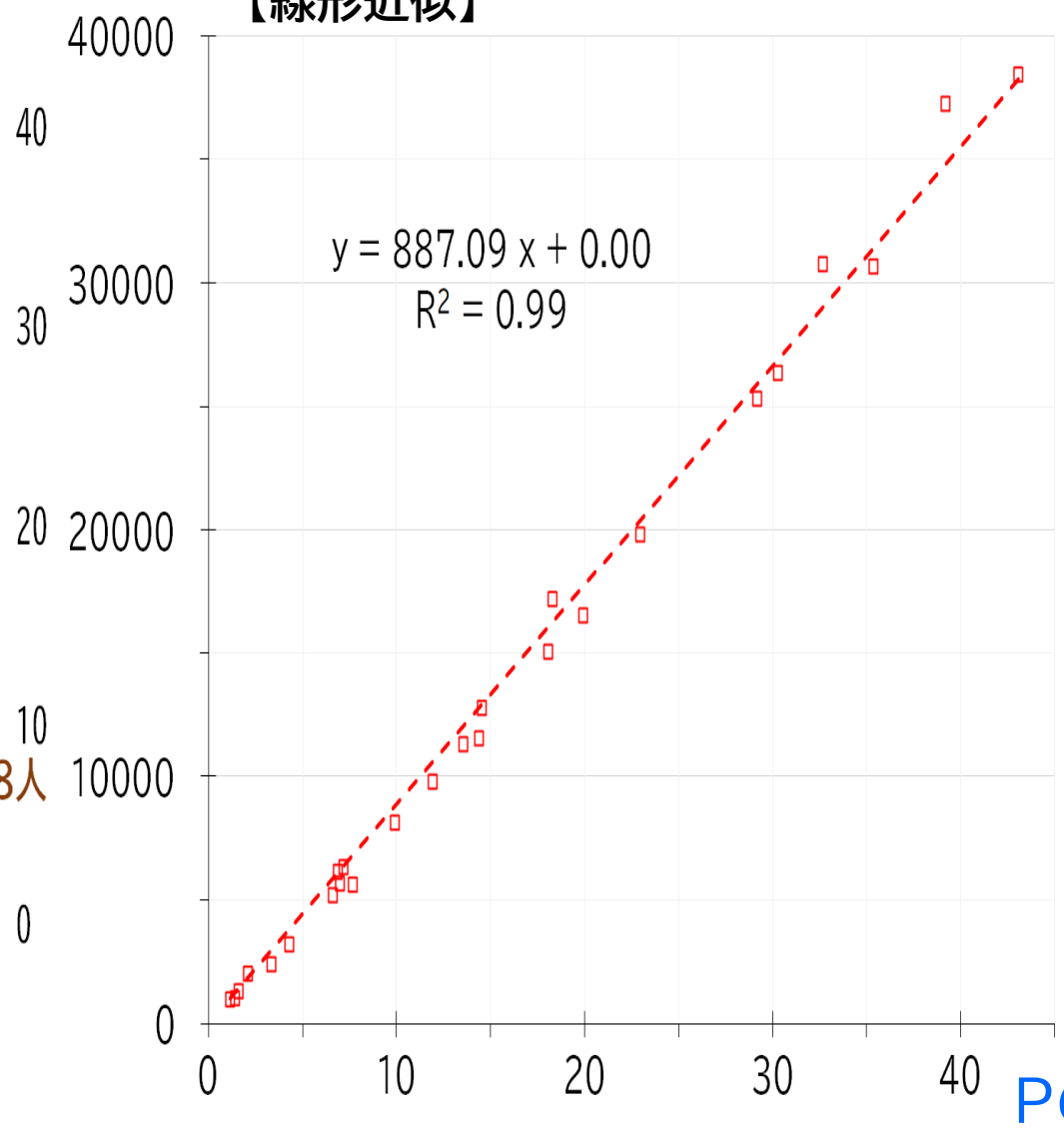


静岡県全体 第8波での1週間感染者数 日次報告と定点医療機関あたりの関係

【週の感染者数】

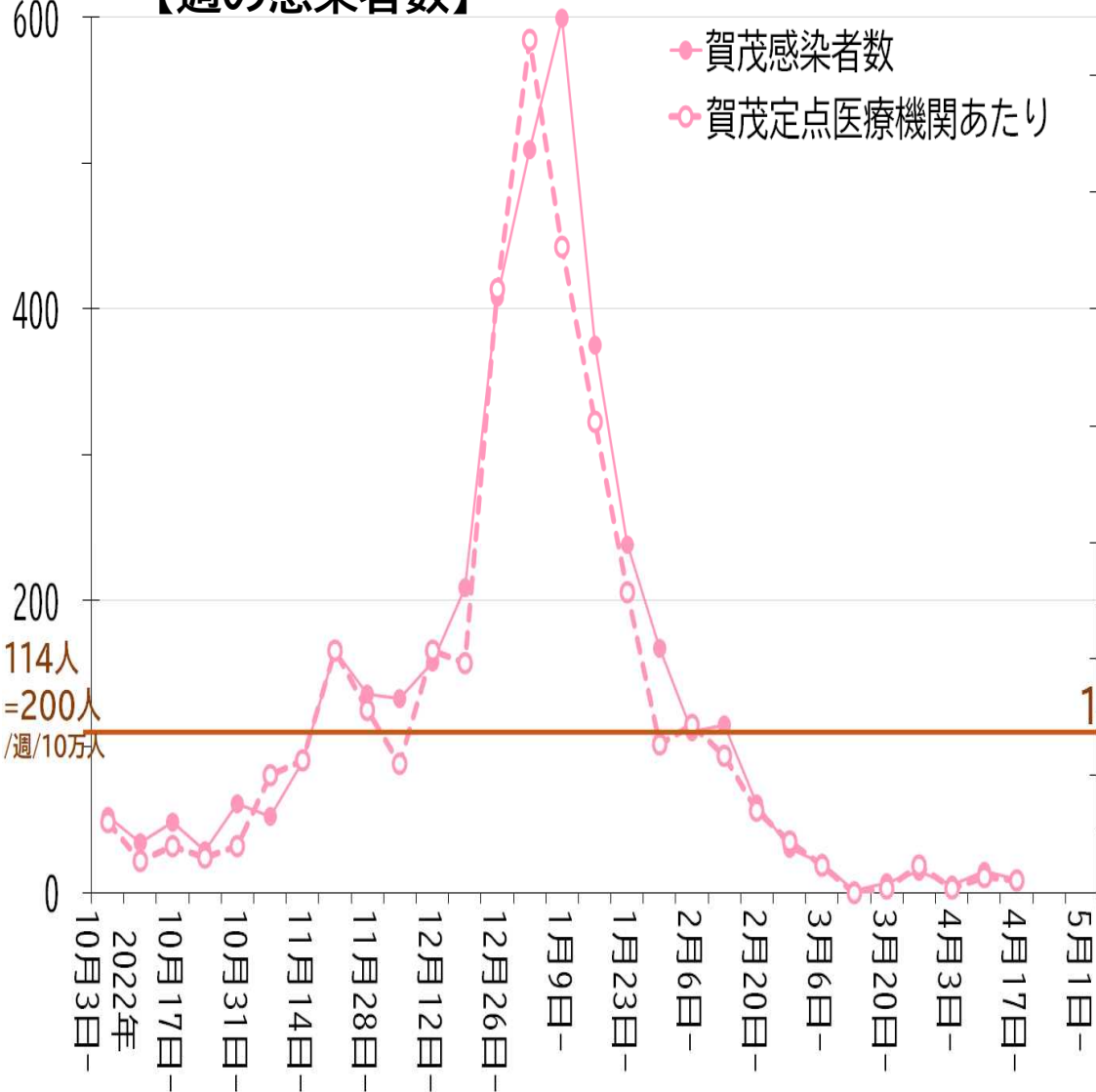


【線形近似】

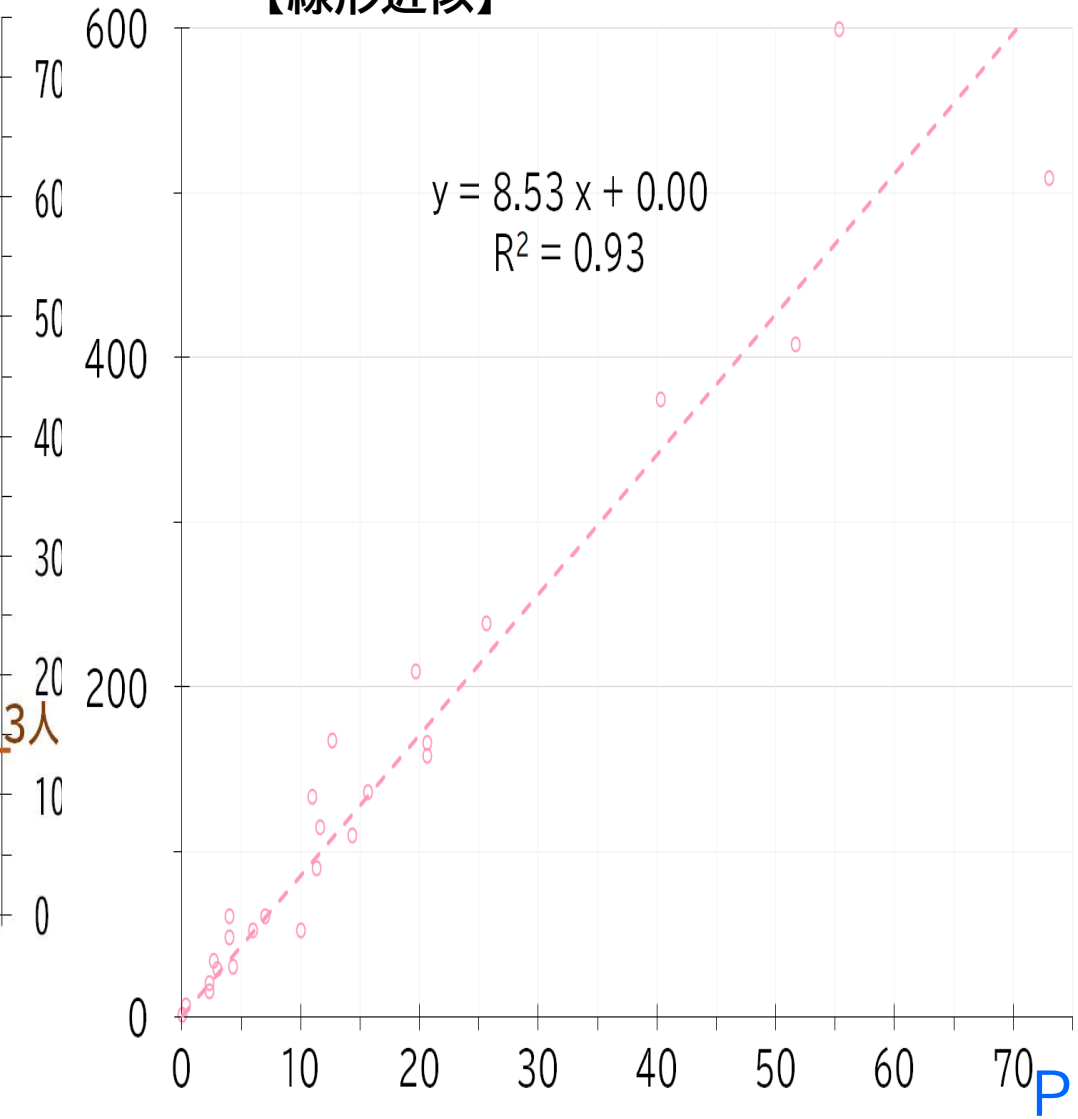


賀茂保健所 第8波での1週間感染者数 日次報告と定点医療機関あたりの関係

【週の感染者数】

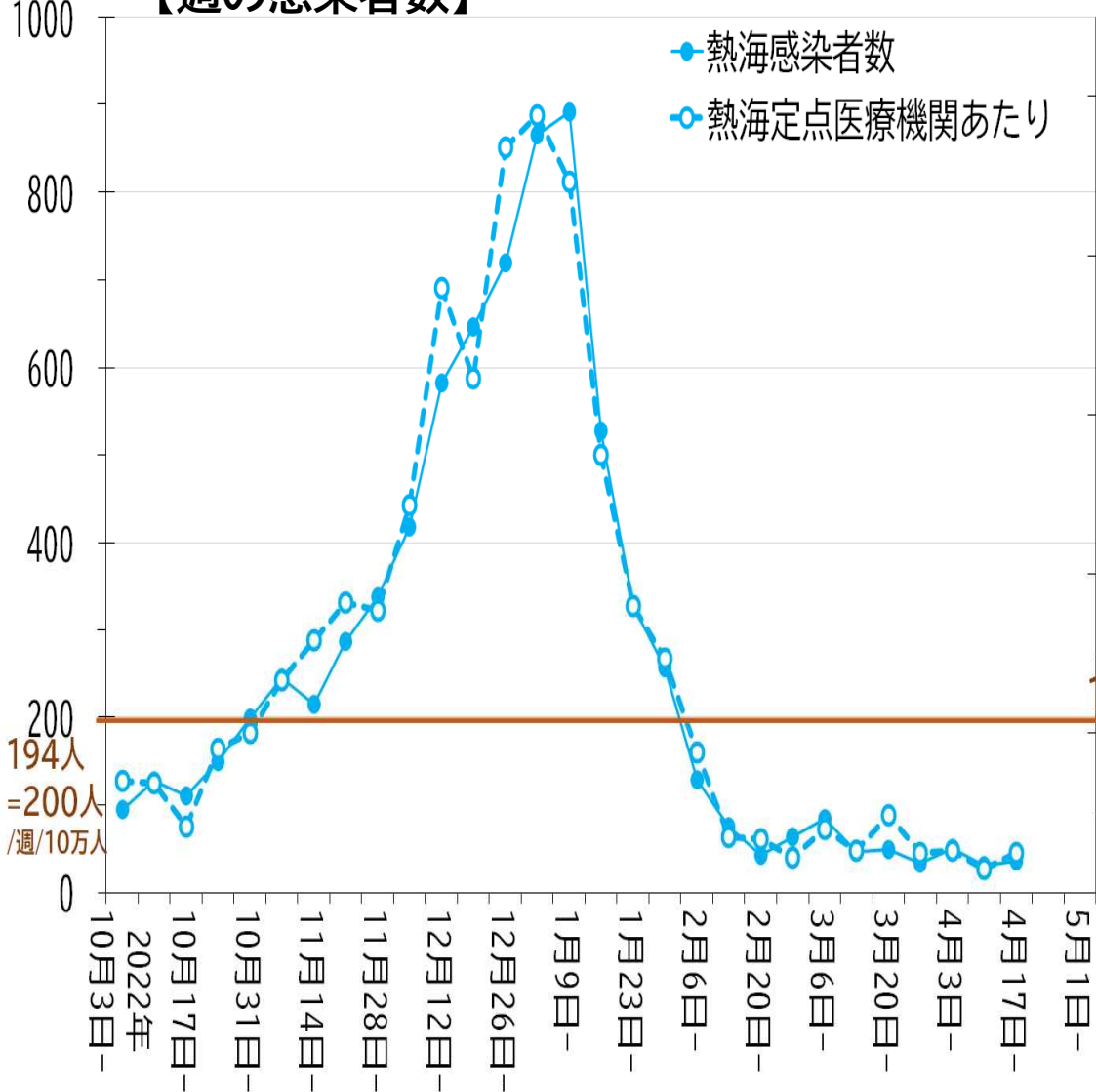


【線形近似】

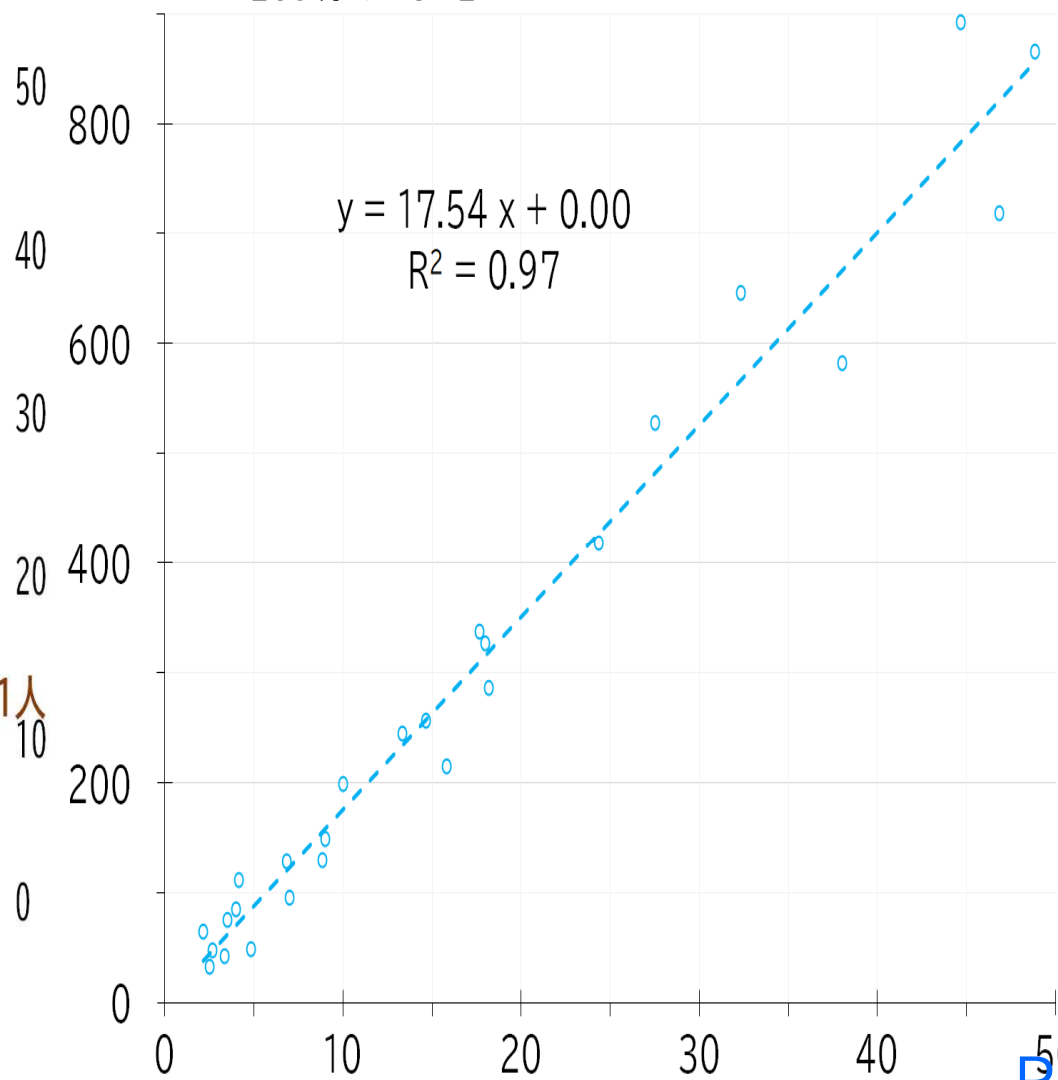


熱海保健所 第8波での1週間感染者数 日次報告と定点医療機関あたりの関係

【週の感染者数】

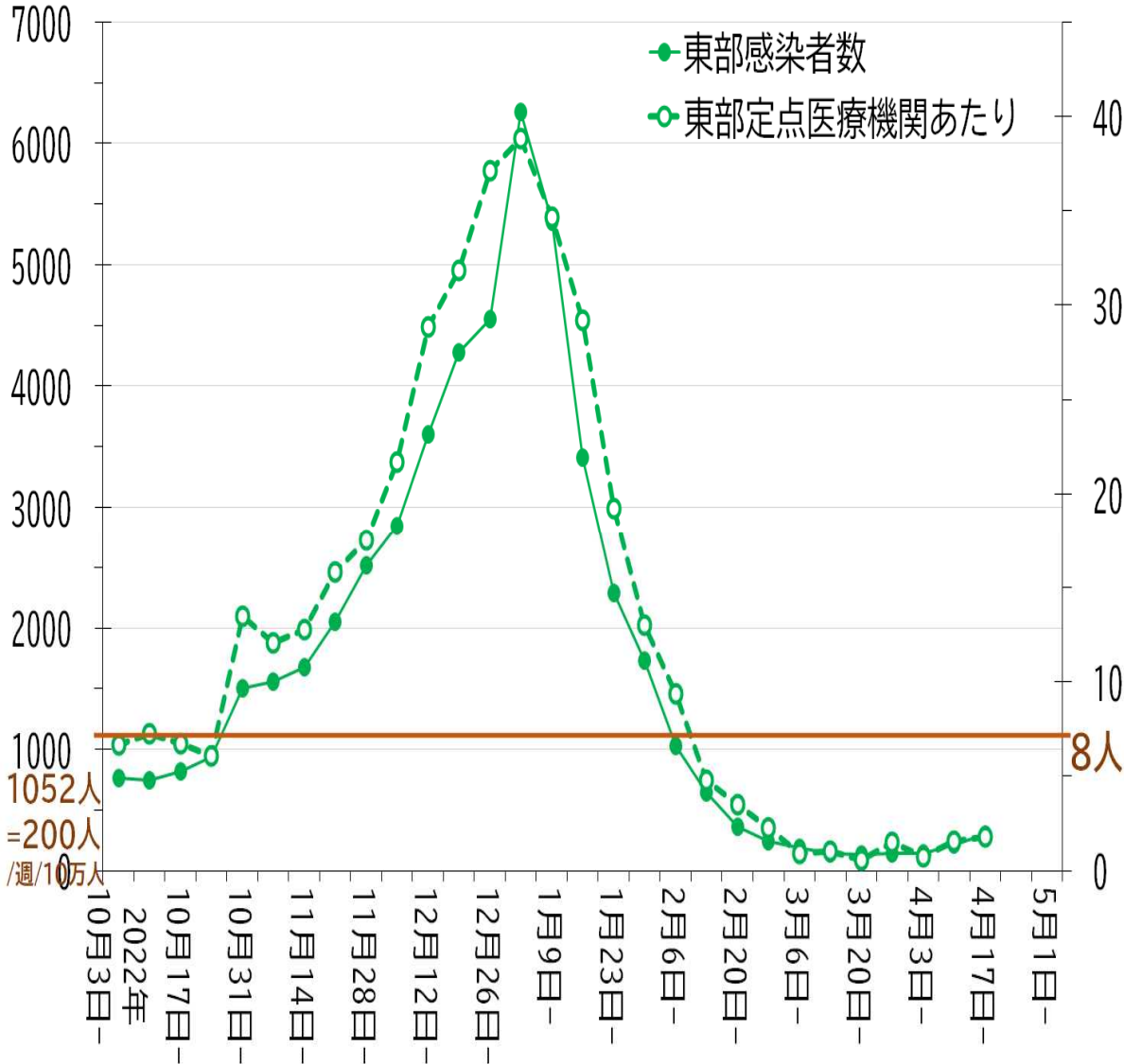


【線形近似】

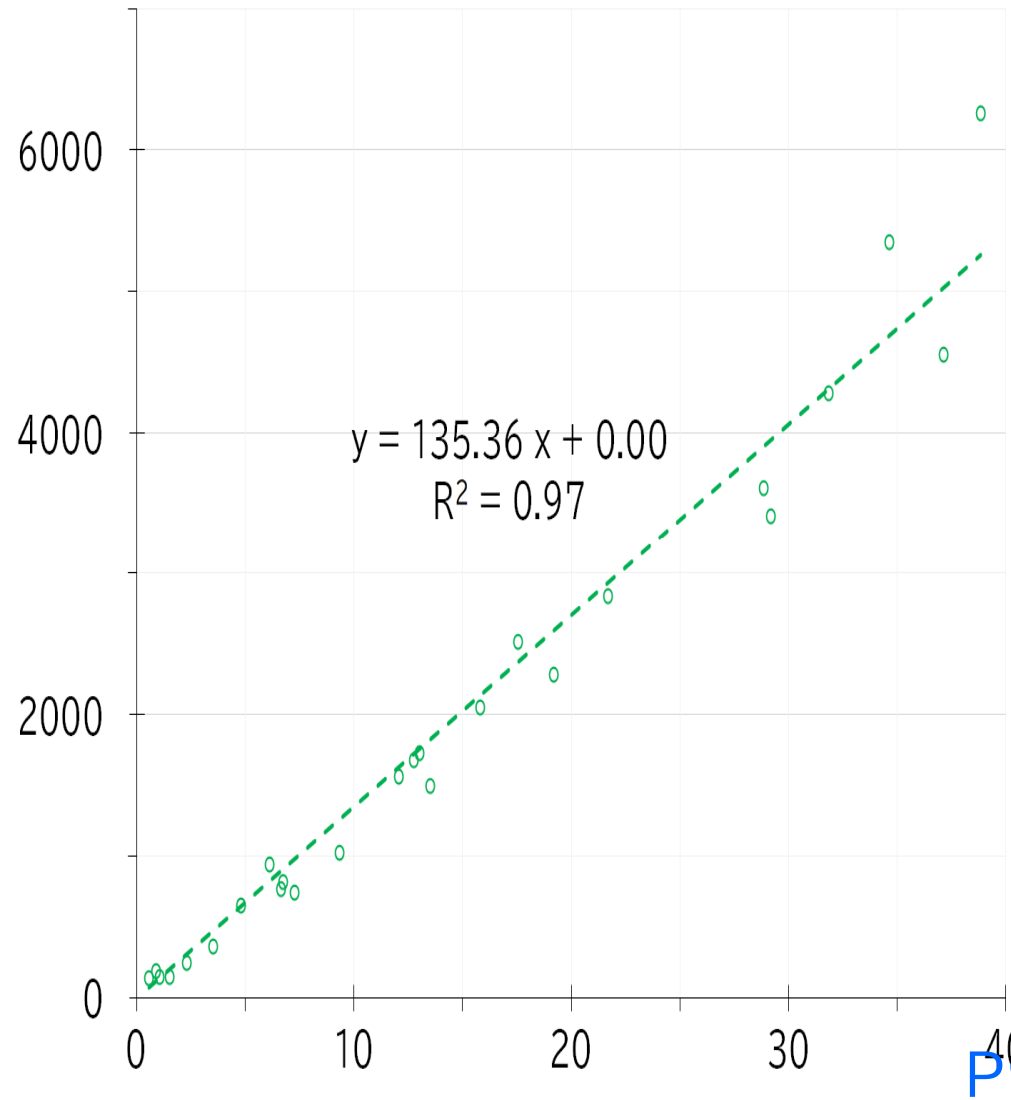


東部保健所 第8波での1週間感染者数 日次報告と定点医療機関あたりの関係

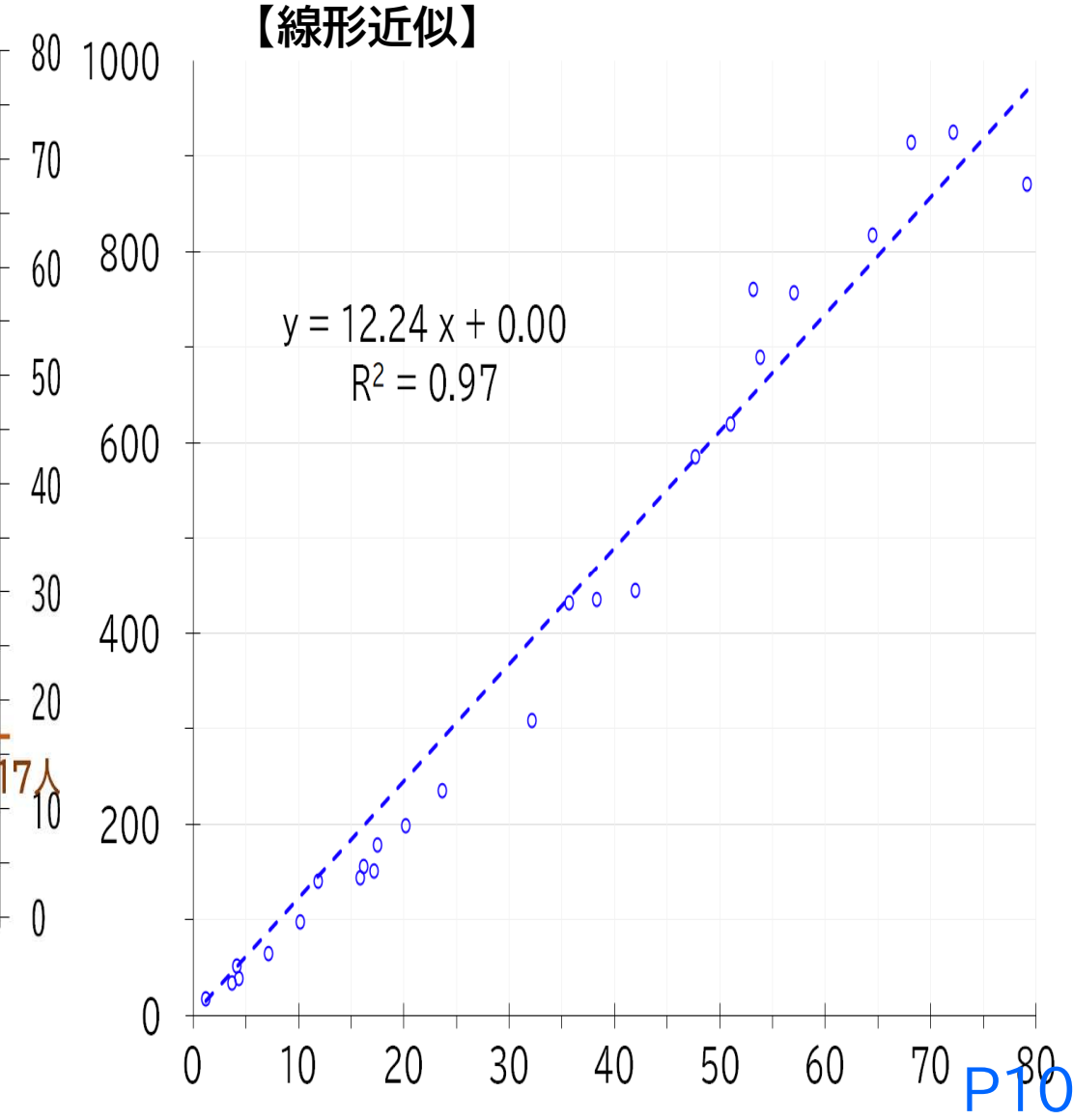
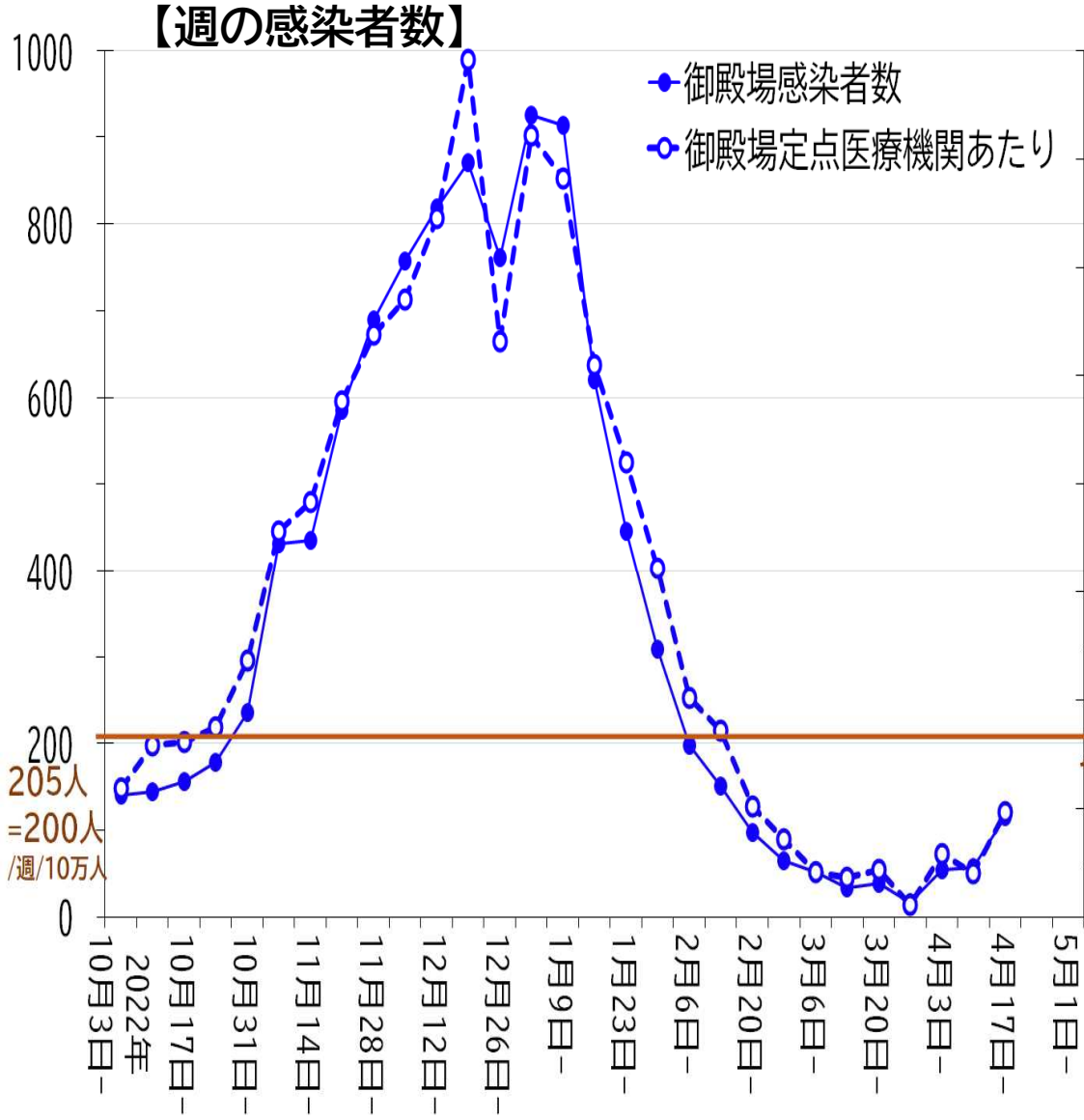
【週別の感染者数】



【線形近似】

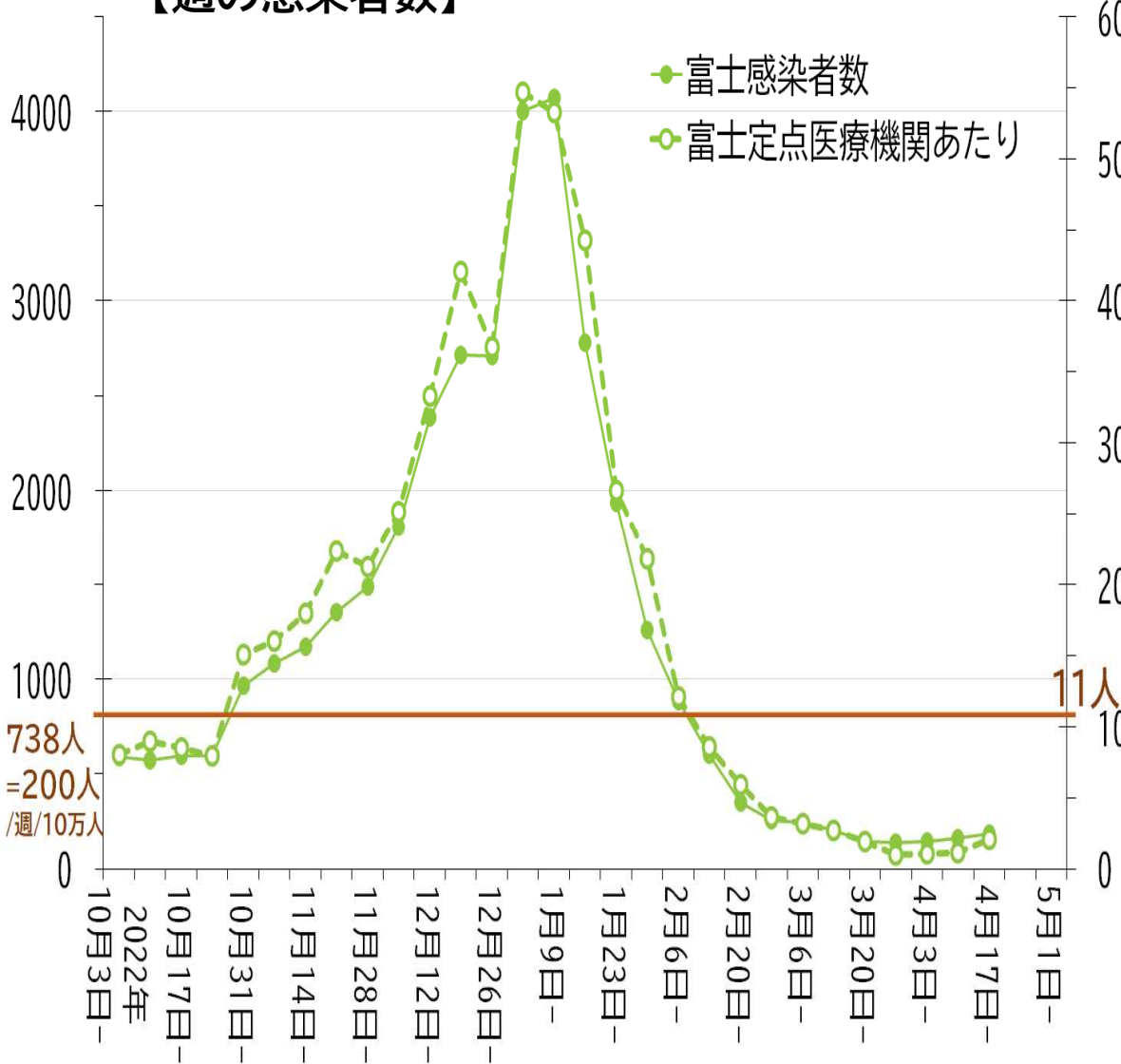


御殿場保健所 第8波での1週間感染者数 日次報告と定点医療機関あたりの関係

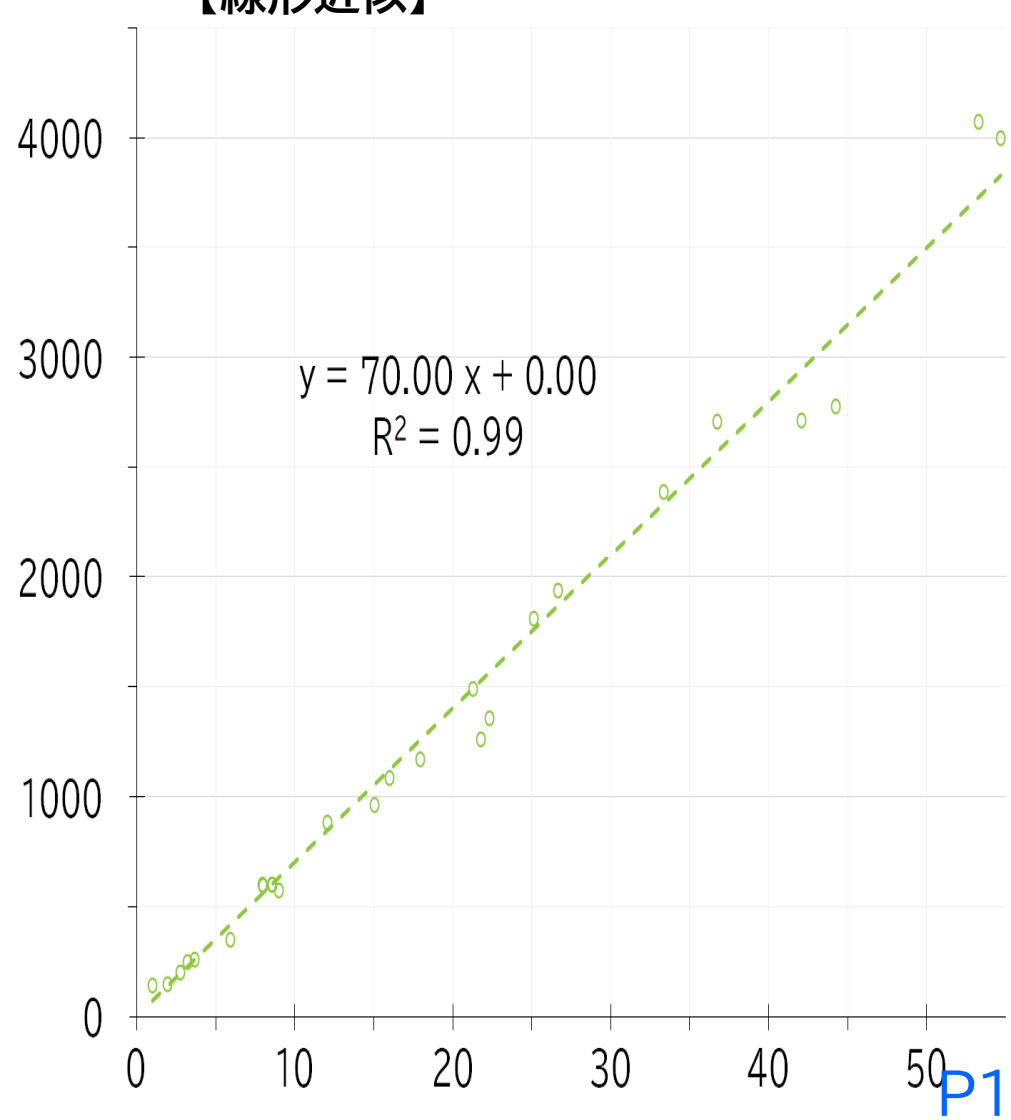


富士保健所 第8波での1週間感染者数 日次報告と定点医療機関あたりの関係

【週の感染者数】

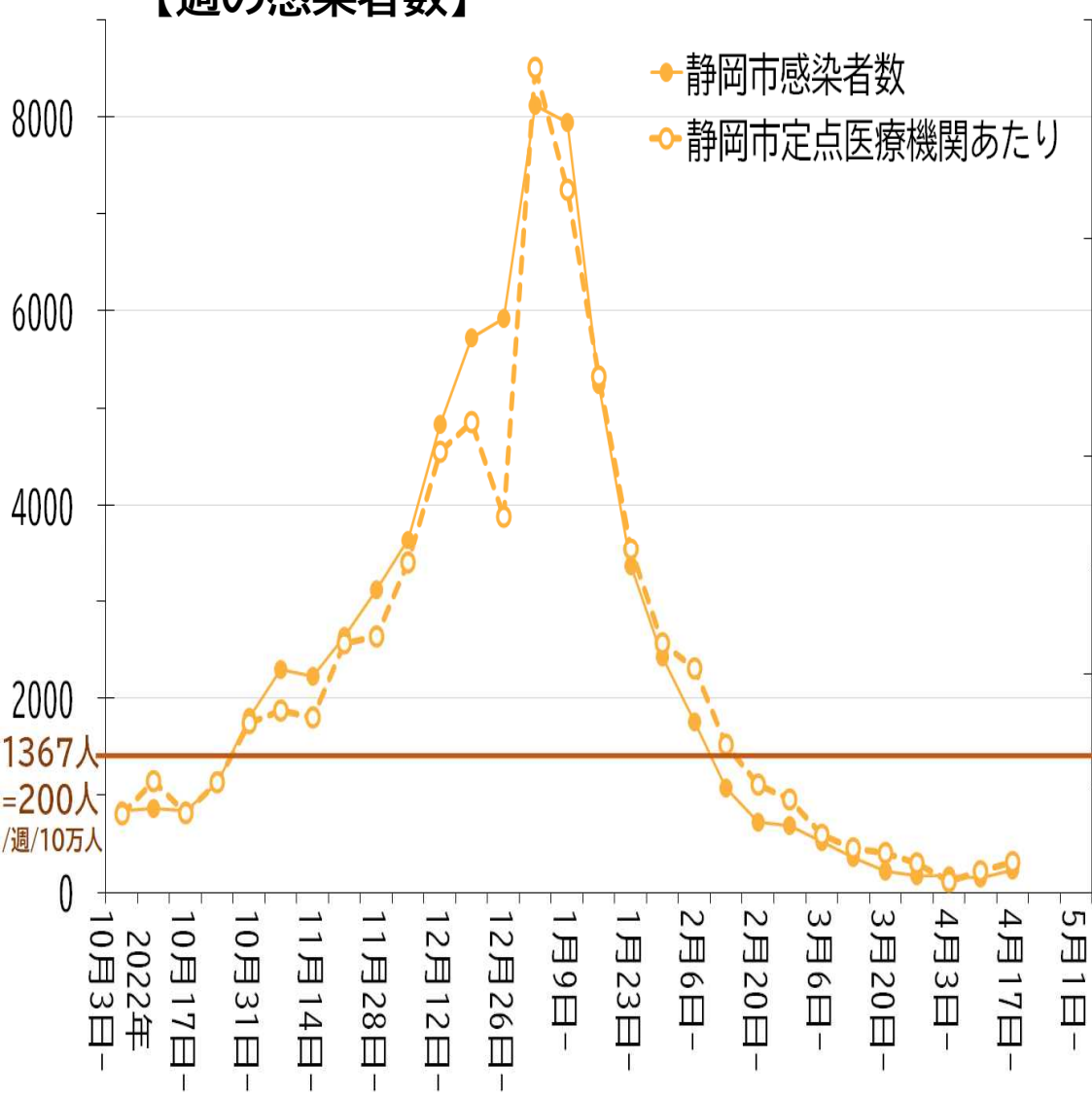


【線形近似】

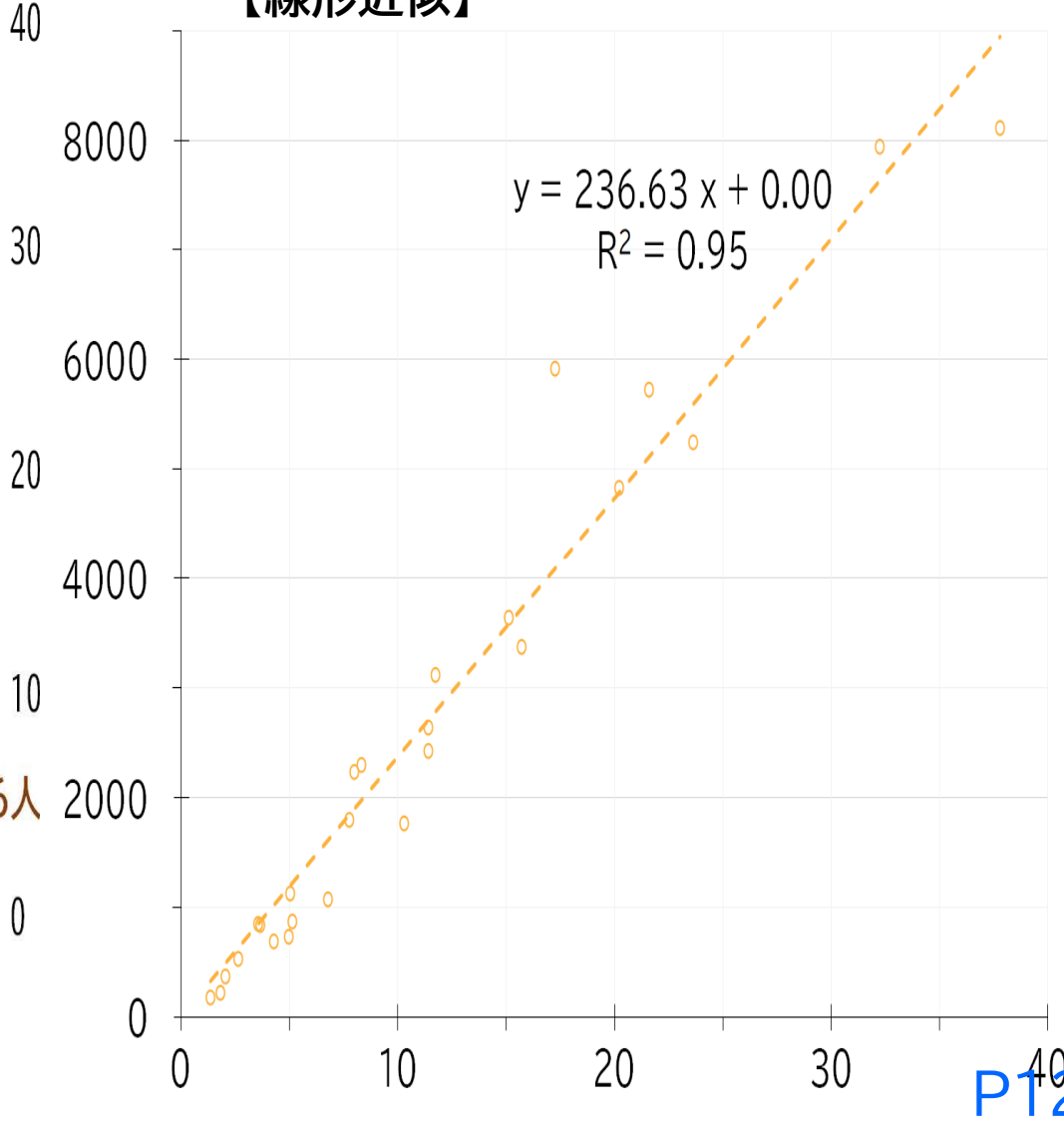


静岡市保健所 第8波での1週間感染者数 日次報告と定点医療機関あたりの関係

【週の感染者数】

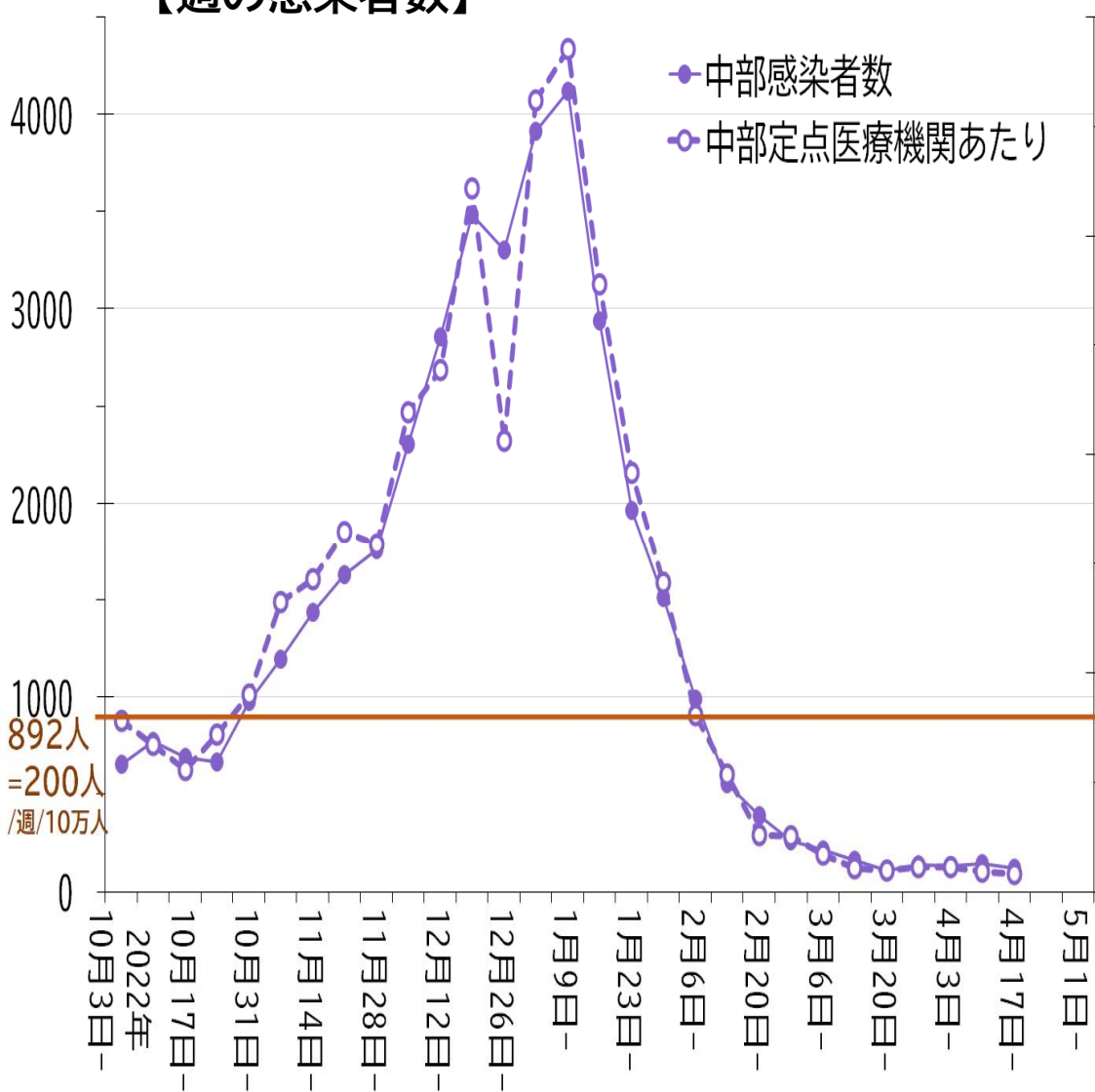


【線形近似】

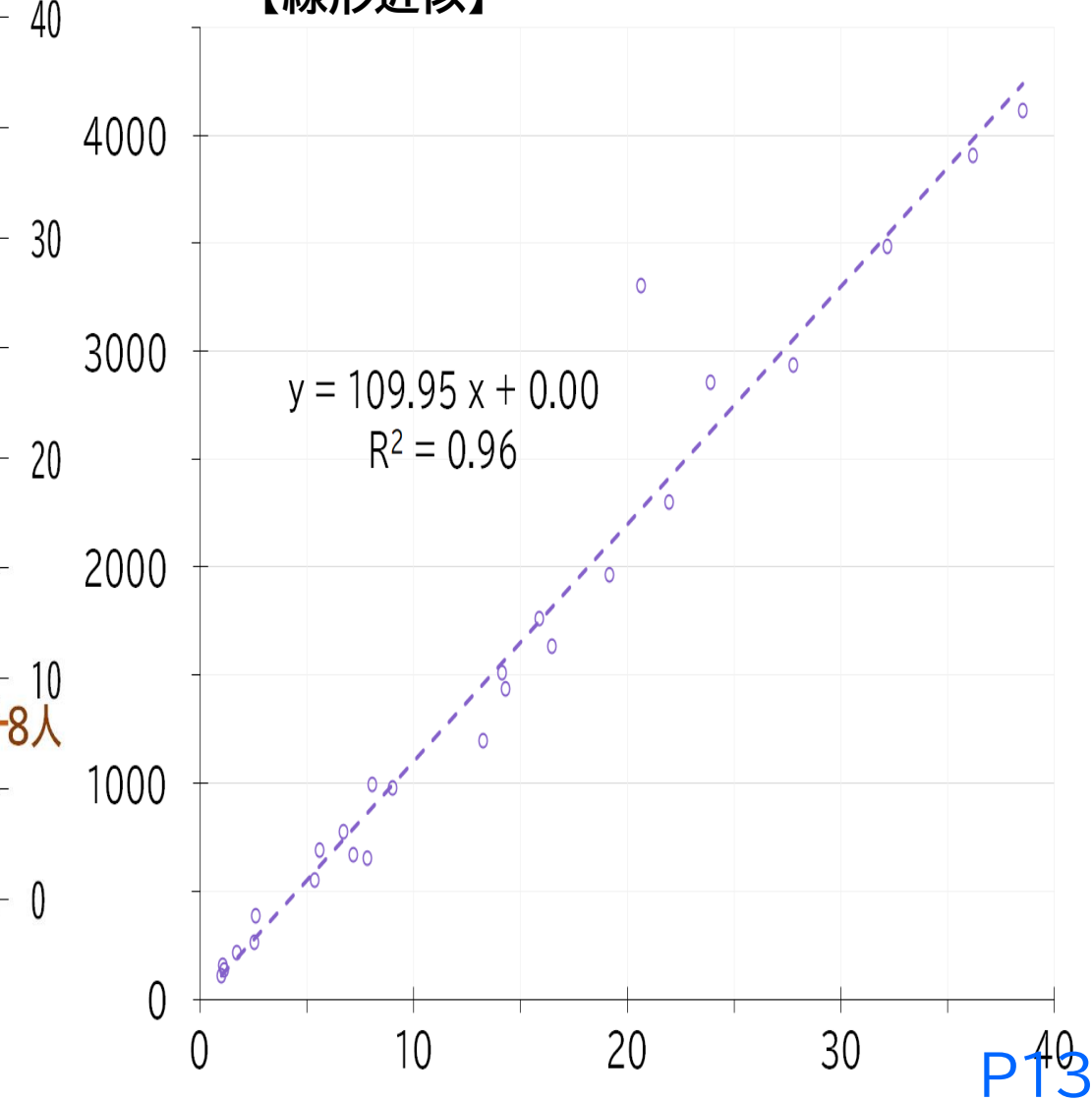


中部保健所 第8波での1週間感染者数 日次報告と定点医療機関あたりの関係

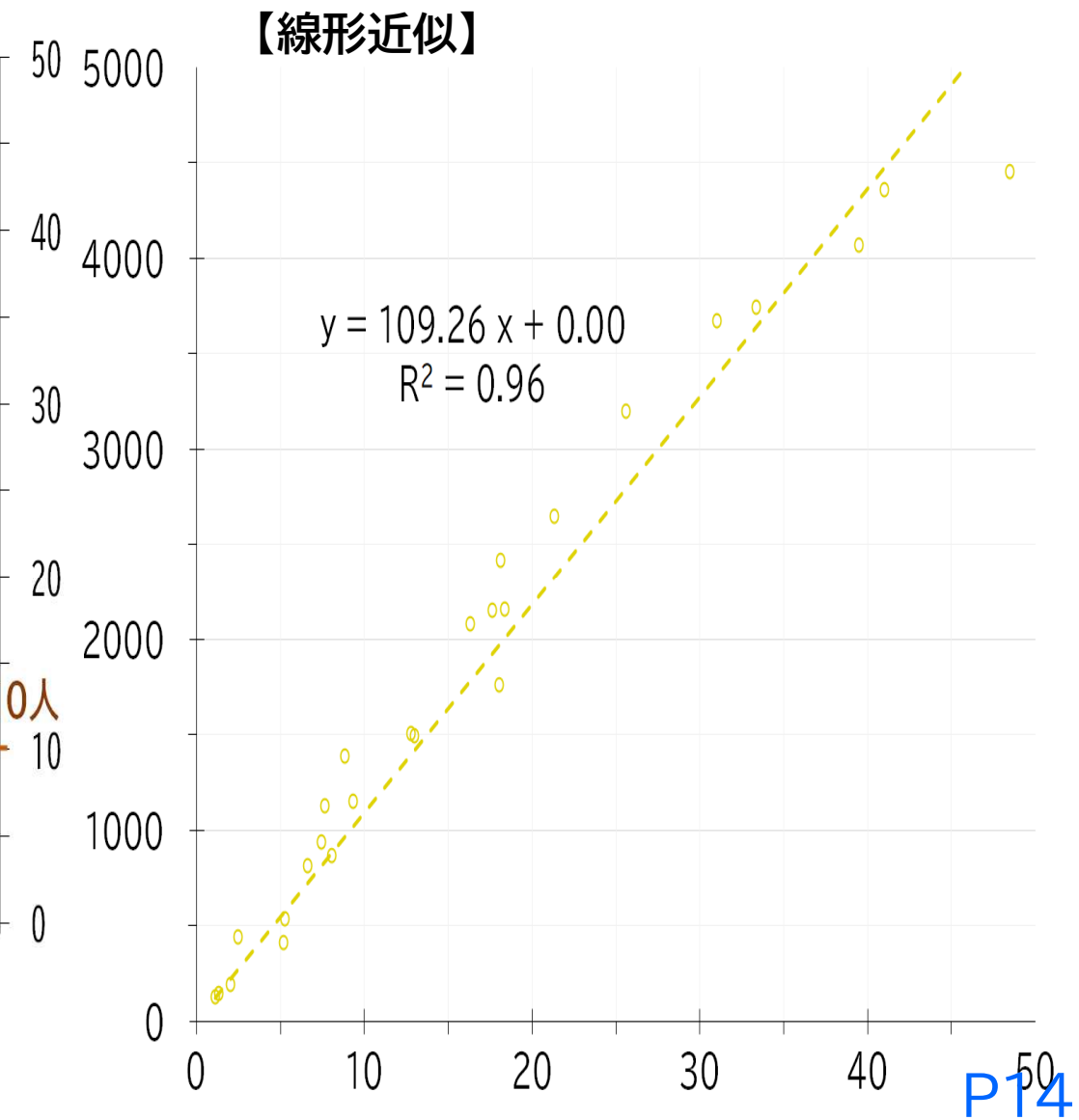
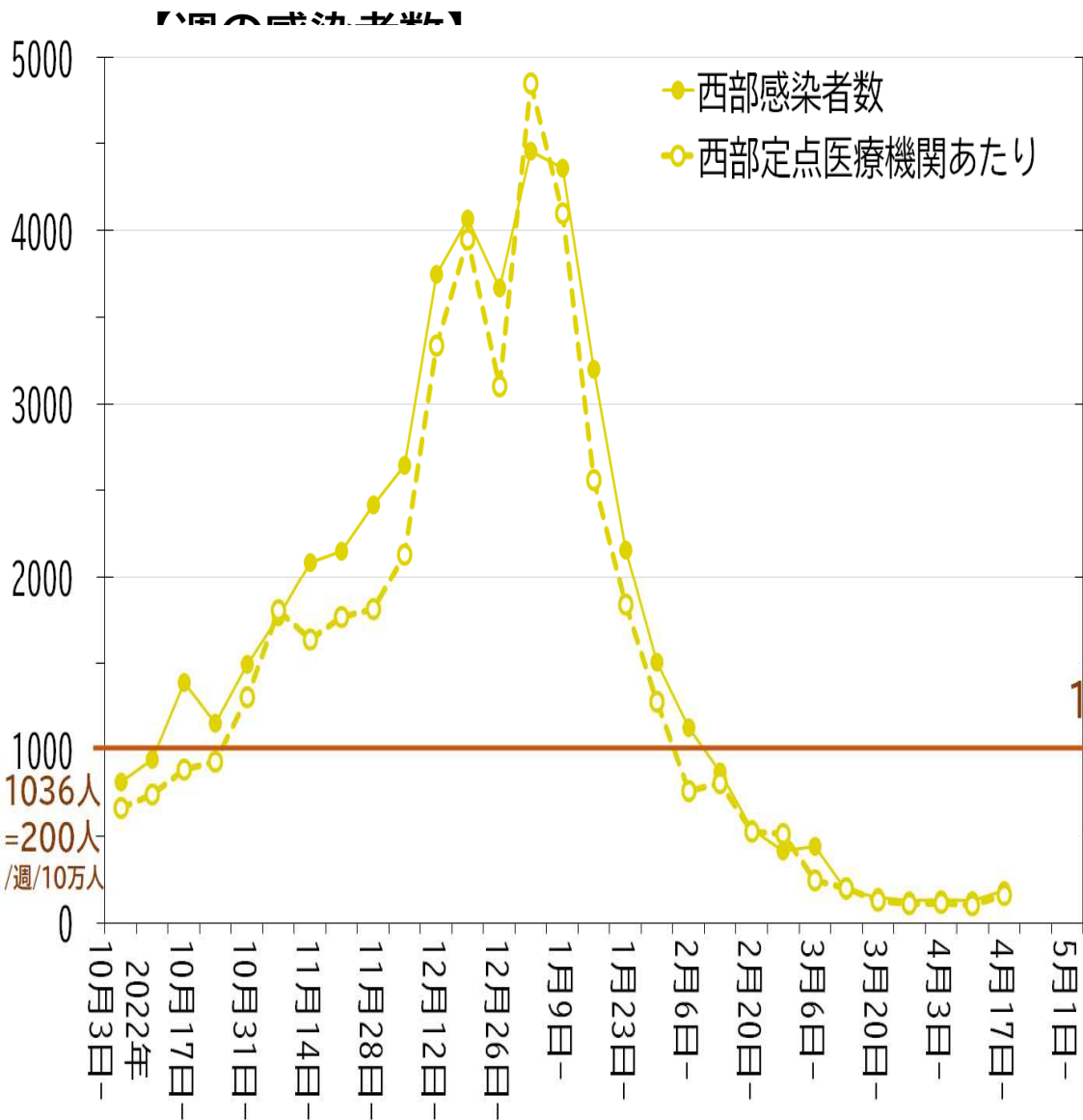
【週の感染者数】



【線形近似】

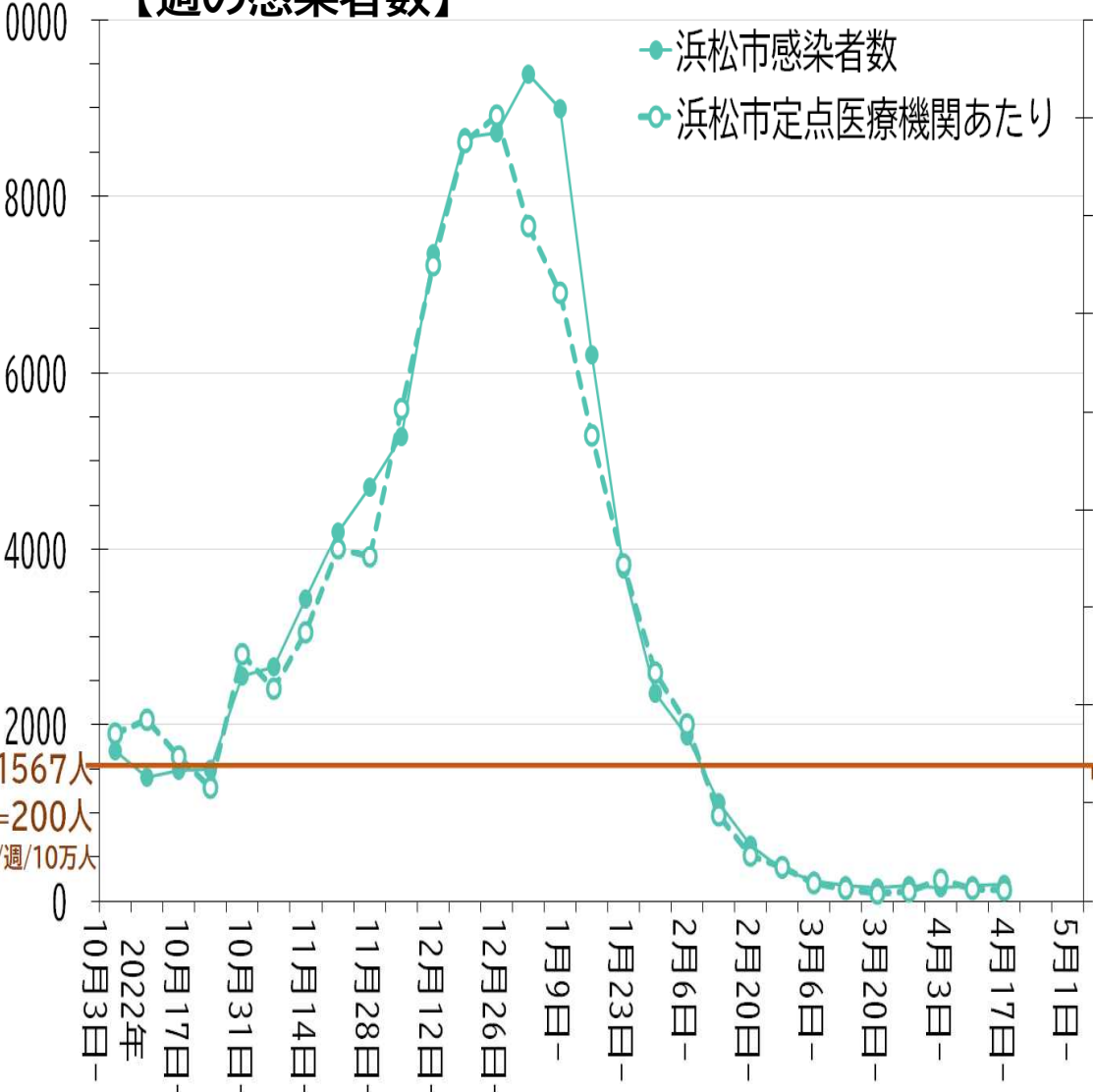


西部保健所 第8波での1週間感染者数 日次報告と定点医療機関あたりの関係

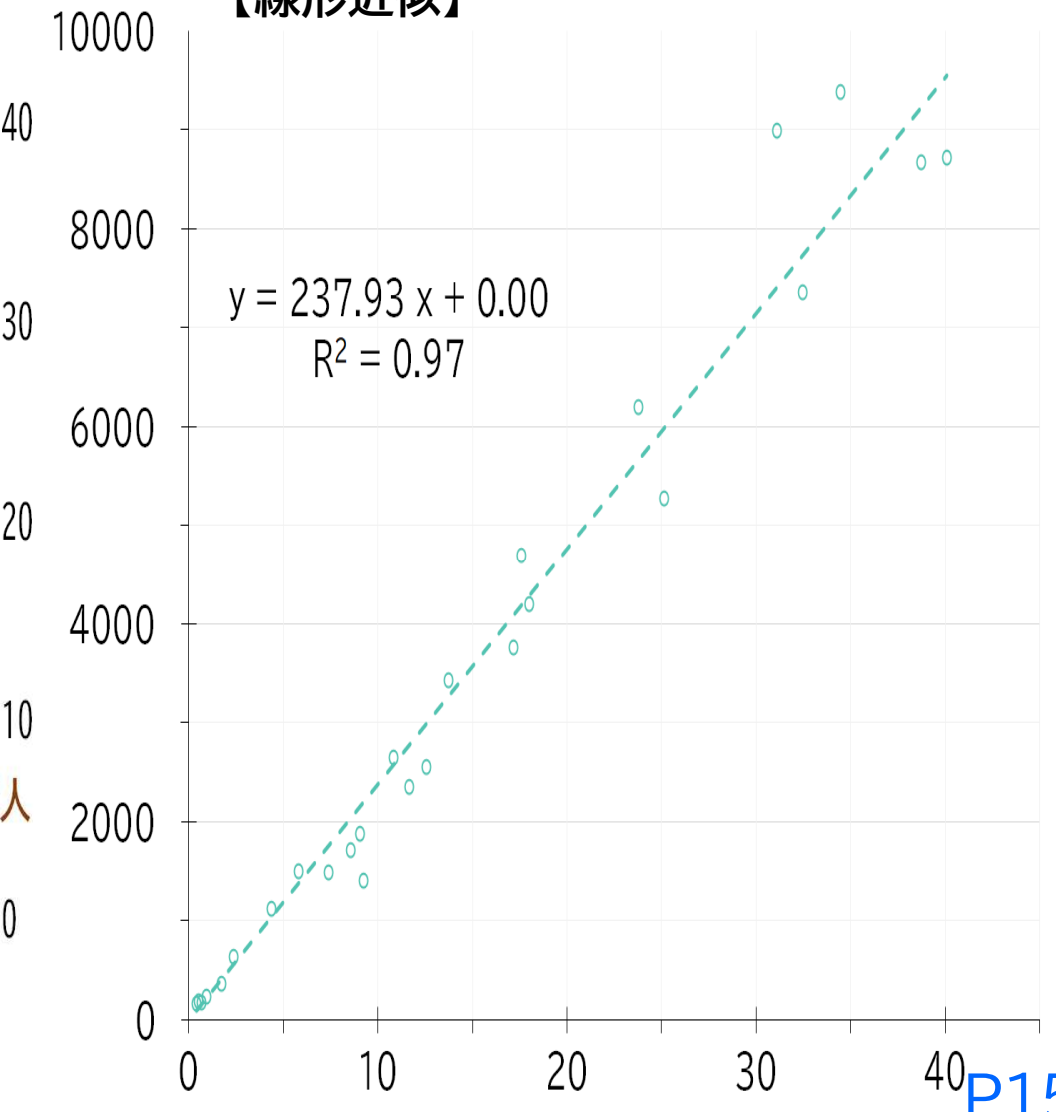


浜松市保健所 第8波での1週間感染者数 日次報告と定点医療機関あたりの関係

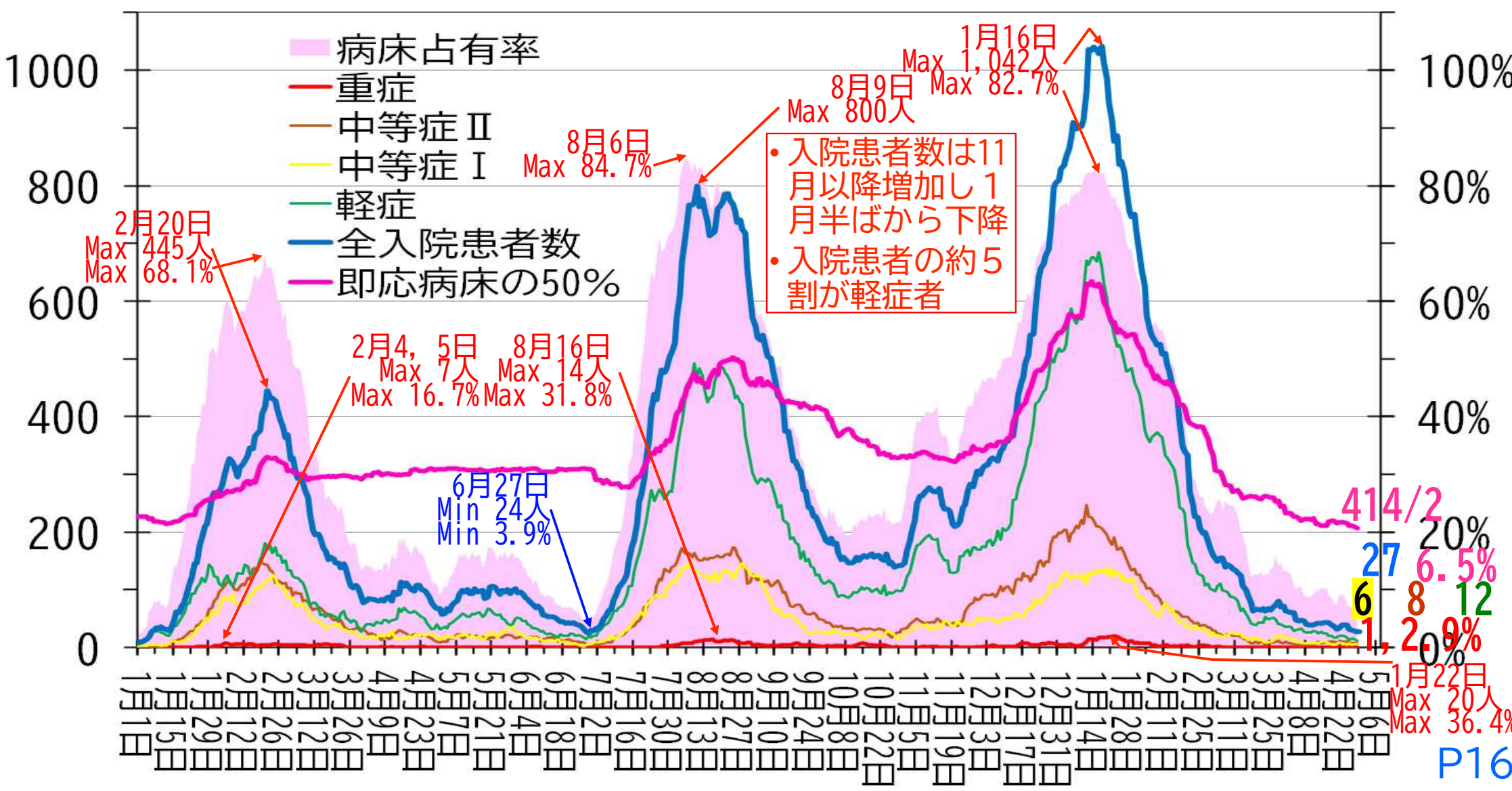
【週の感染者数】



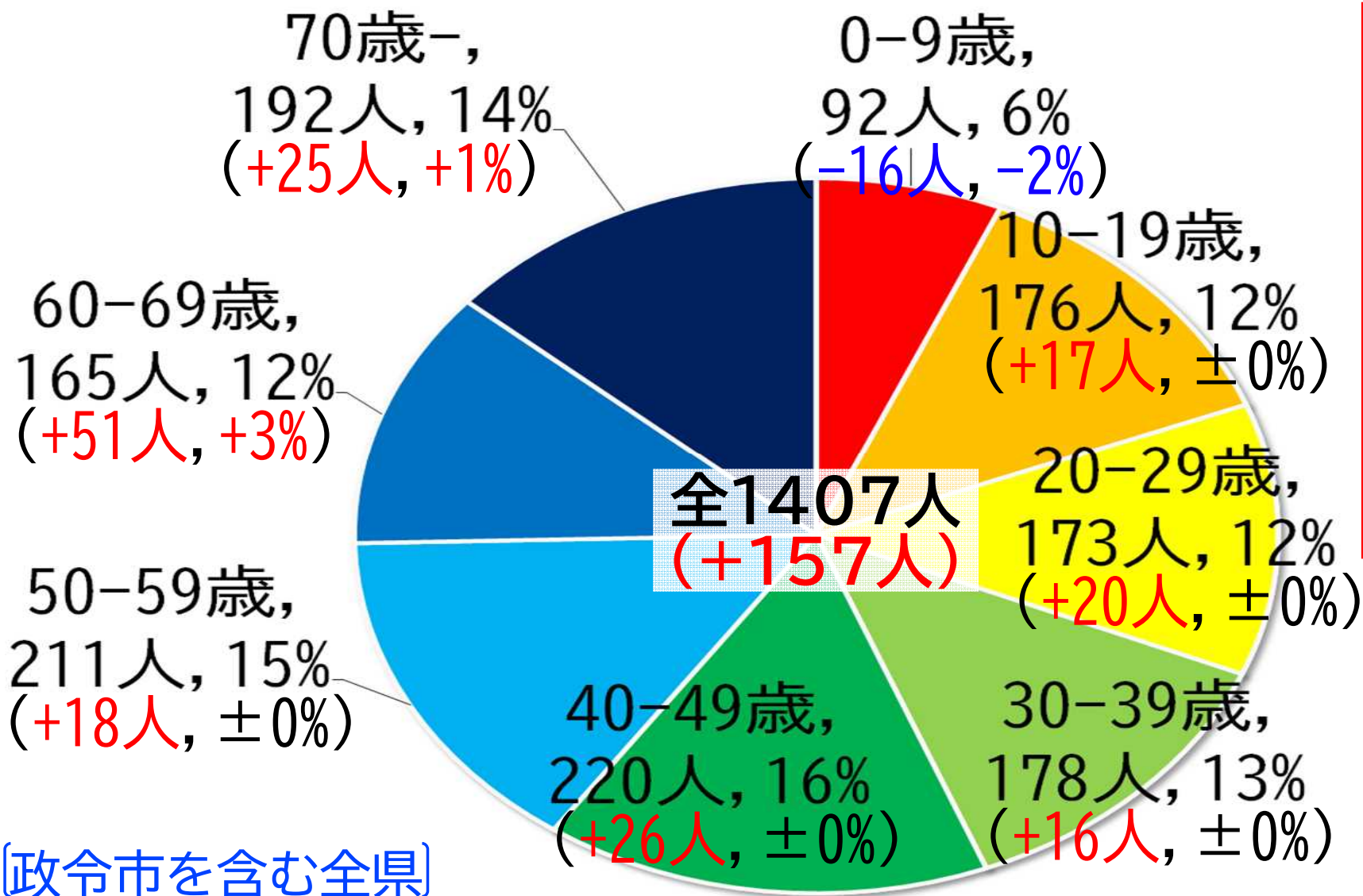
【線形近似】



静岡県 コロナ受入病院 入院患者重症度別推移(2022.1/1~2023.4/28)



静岡県直近の年齢別感染者数・割合 (4/21~27)



- 40歳代の割合が最も多く16%、次いで50歳代が15%
- 割合が増加したのは、60歳代が最も多く+3ポイント、次いで70歳以上が+1ポイント
- 人数は10歳未満を除く全ての年代で増加し、60歳代が最多増
- 60歳以上は26%で前週より4ポイント減少

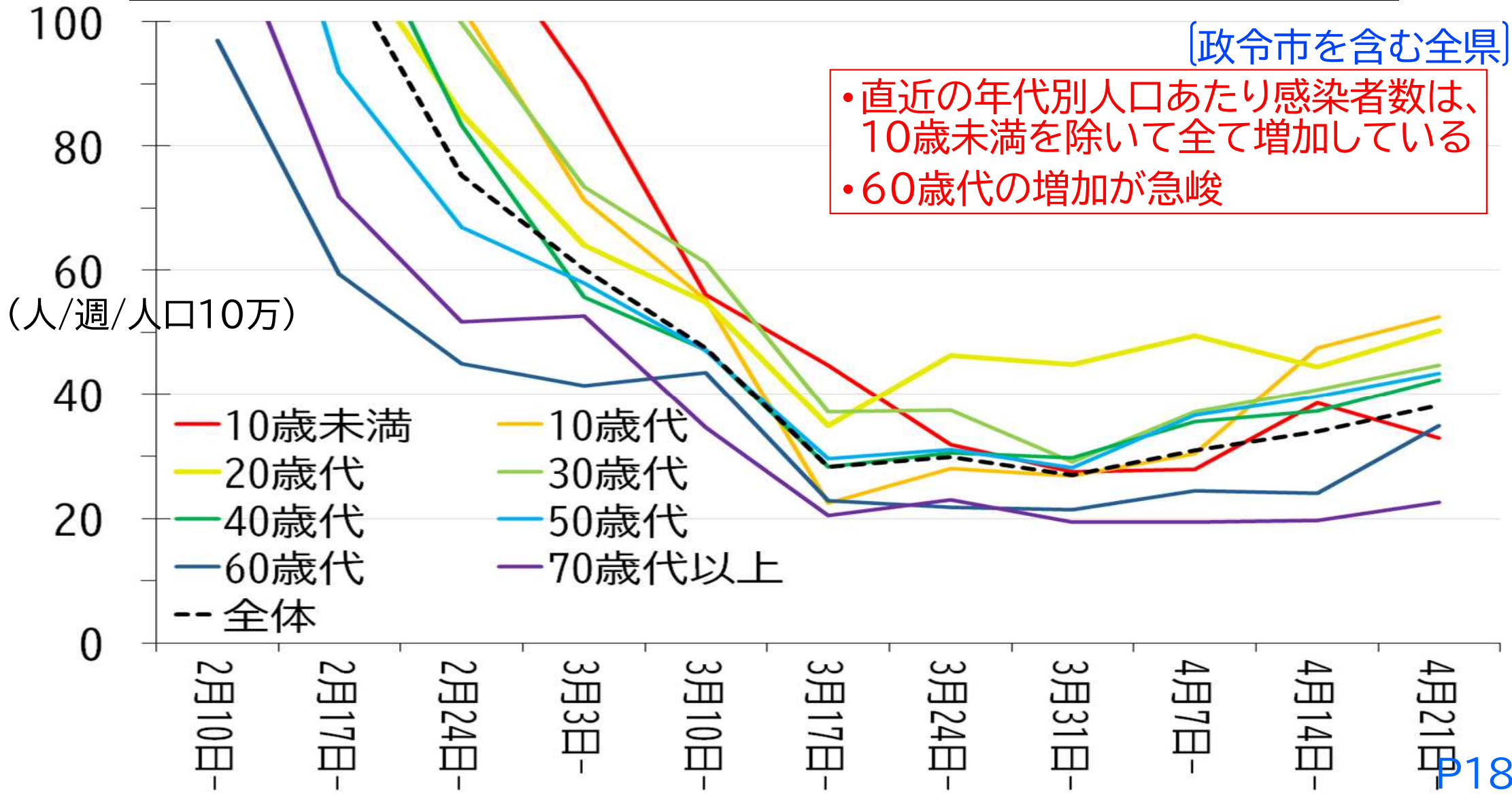
(+-〇〇人, +-□%)
は前週との増減

[政令市を含む全県]

静岡県 年代別人口10万人あたり週感染者数 (2023.2/10~4/27)

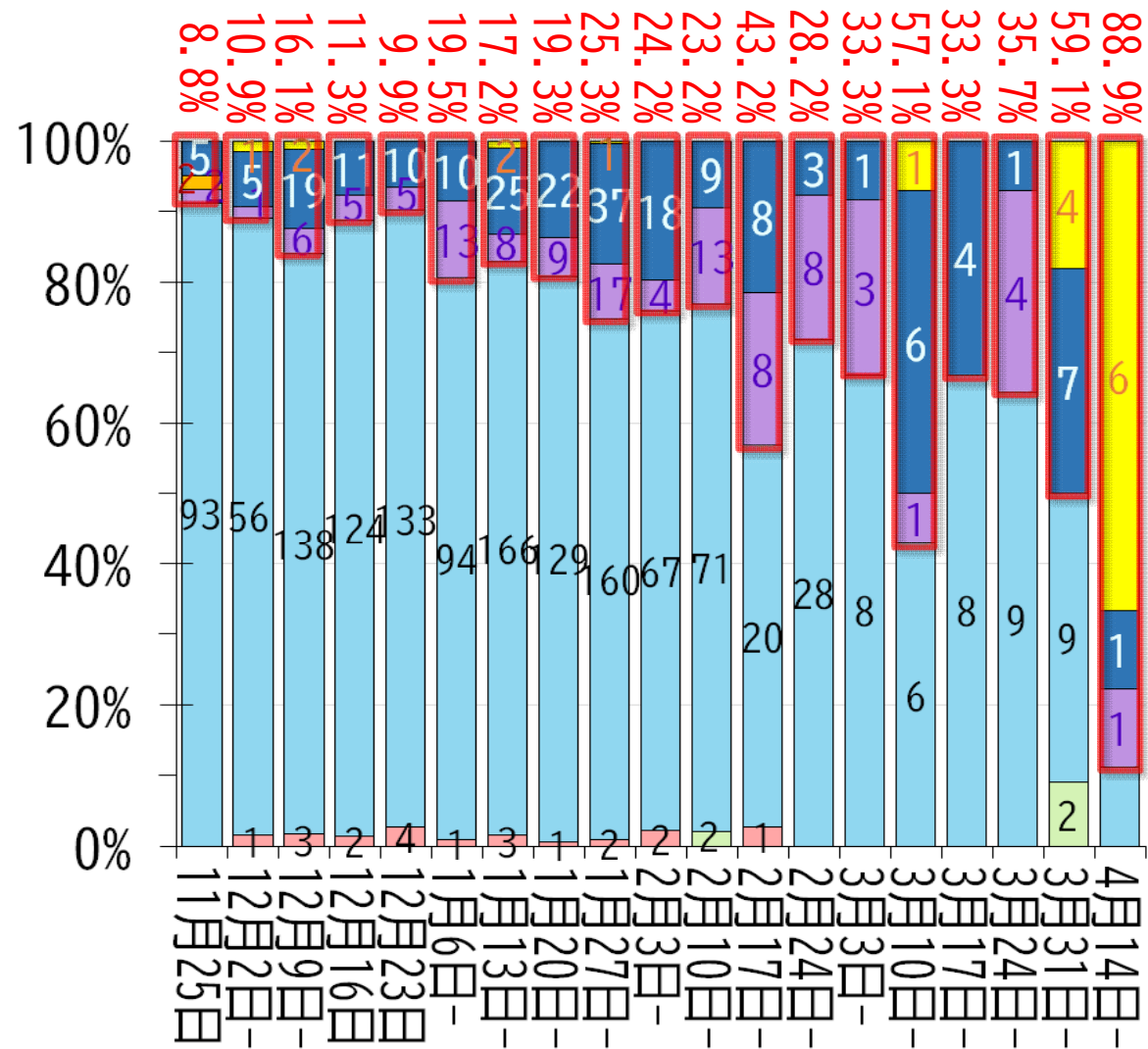
[政令市を含む全県]

• 直近の年代別人口あたり感染者数は、10歳未満を除いて全て増加している
 • 60歳代の増加が急峻



静岡県 オミクロン株 感染者数増加が示唆される亜系統の状況 (2022.11/25~2023.4/27)

[12月8日までは政令市を除く県所管地域]
 [12月9日からは政令市を含む県全体]

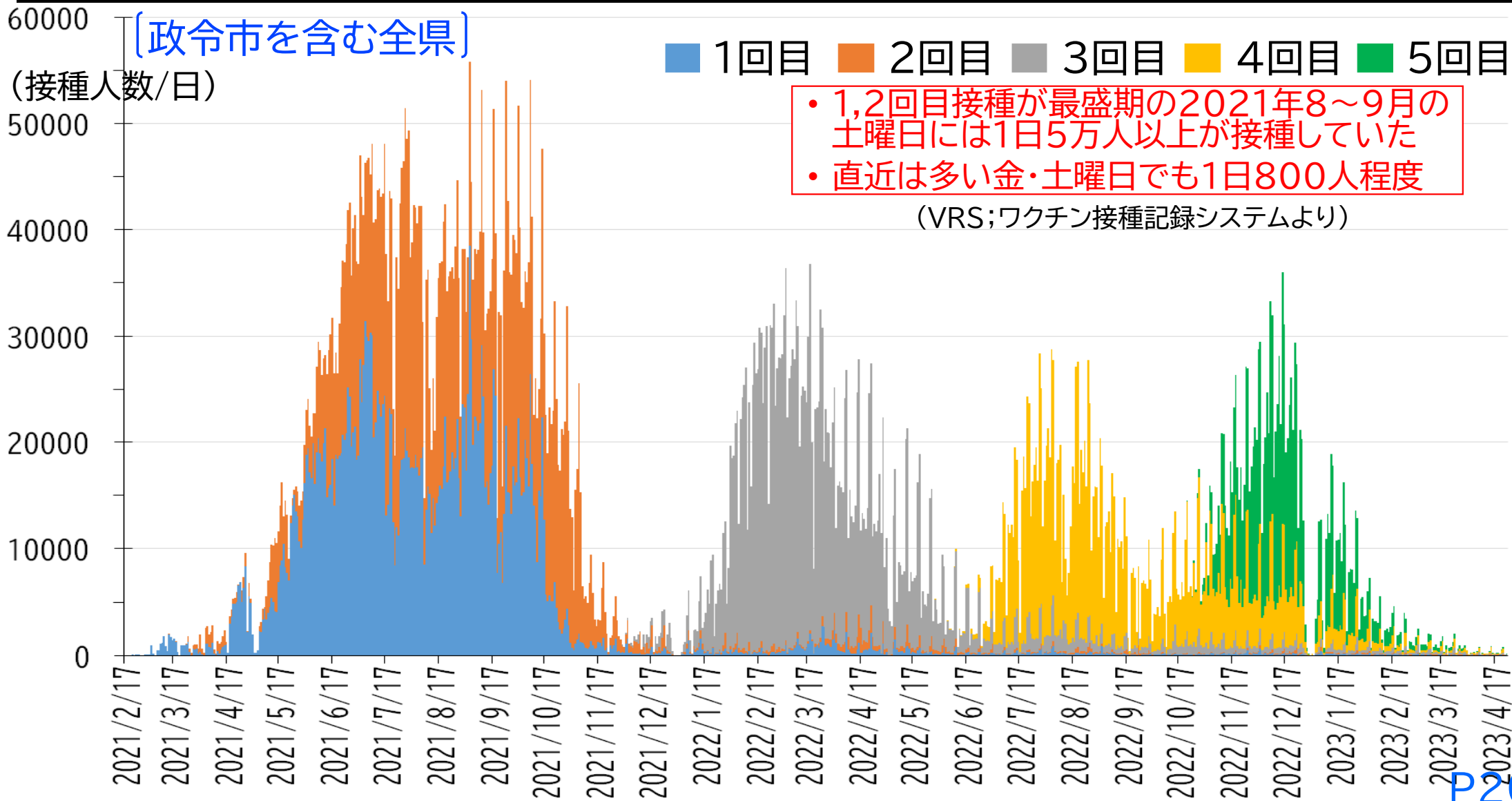


- XBB系統
- BQ.1系統
- BS.1系統
- BA.2.75系統
- その他のBA.5
- その他のBA.2
- その他の組替体

- 国立感染症研究所が、中和抗体からの逃避や感染者数増加の優位性が示唆される亜系統として動向を注視する必要があるとしたオミクロン株の系統※の検出状況を示す
 - 上述の系統に属する亜系統が、直近の週に県全体で計8検体(88.9%)検出された
 - なお、検体採取は結果が判明した週の約2週前
- ※ BA.2.75系統
 BA.4.6系統
 XBB系統
 BQ.1系統
 BS.1系統

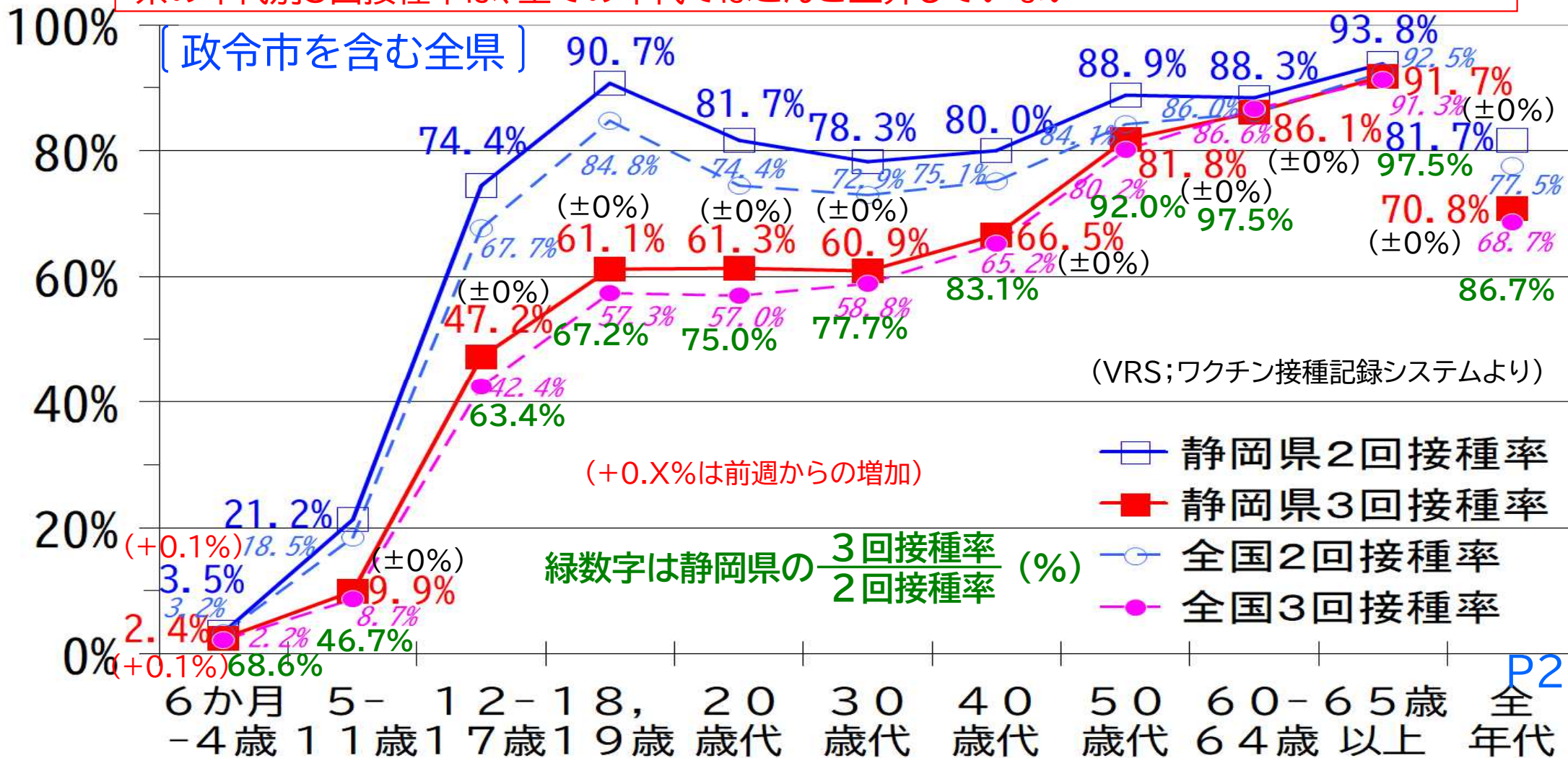
ゲノム解析数 102, 64, 168, 142, 152, 118, 204, 161, 127, 91, 95, 37, 39, 12, 14, 12, 14, 22, 9

静岡県 コロナワクチン日別接種状況 (2021.2/19~2023.4/24)

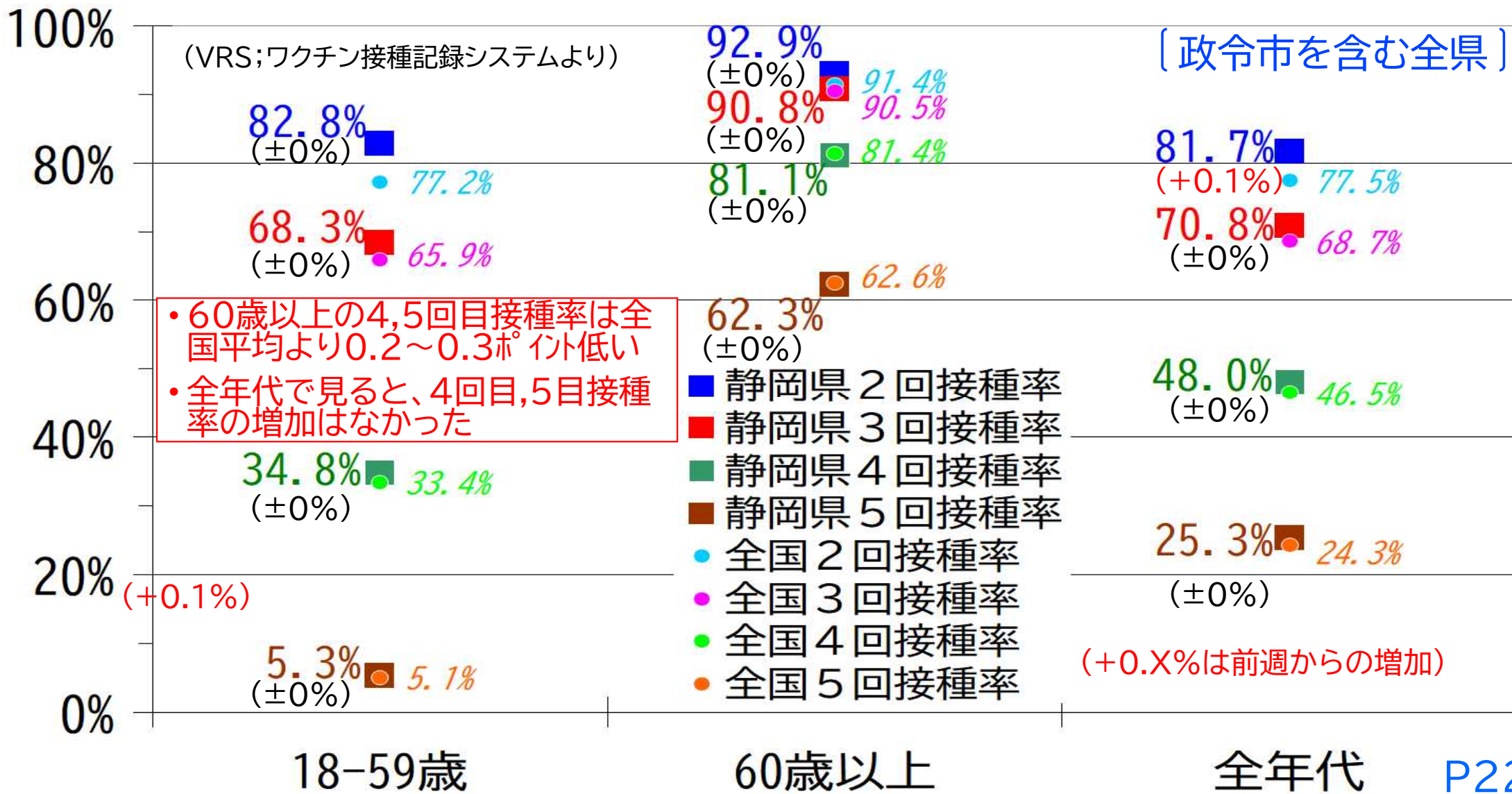


県と国 コロナワクチン2, 3回目年代別接種率 (4/24時点)

- ・県の3回接種率を全国と比べると、60～64歳を除いて全国より高い(0.2～4.8ポイント高い)
- ・県の年代別3回接種率は、全ての年代でほとんど上昇していない

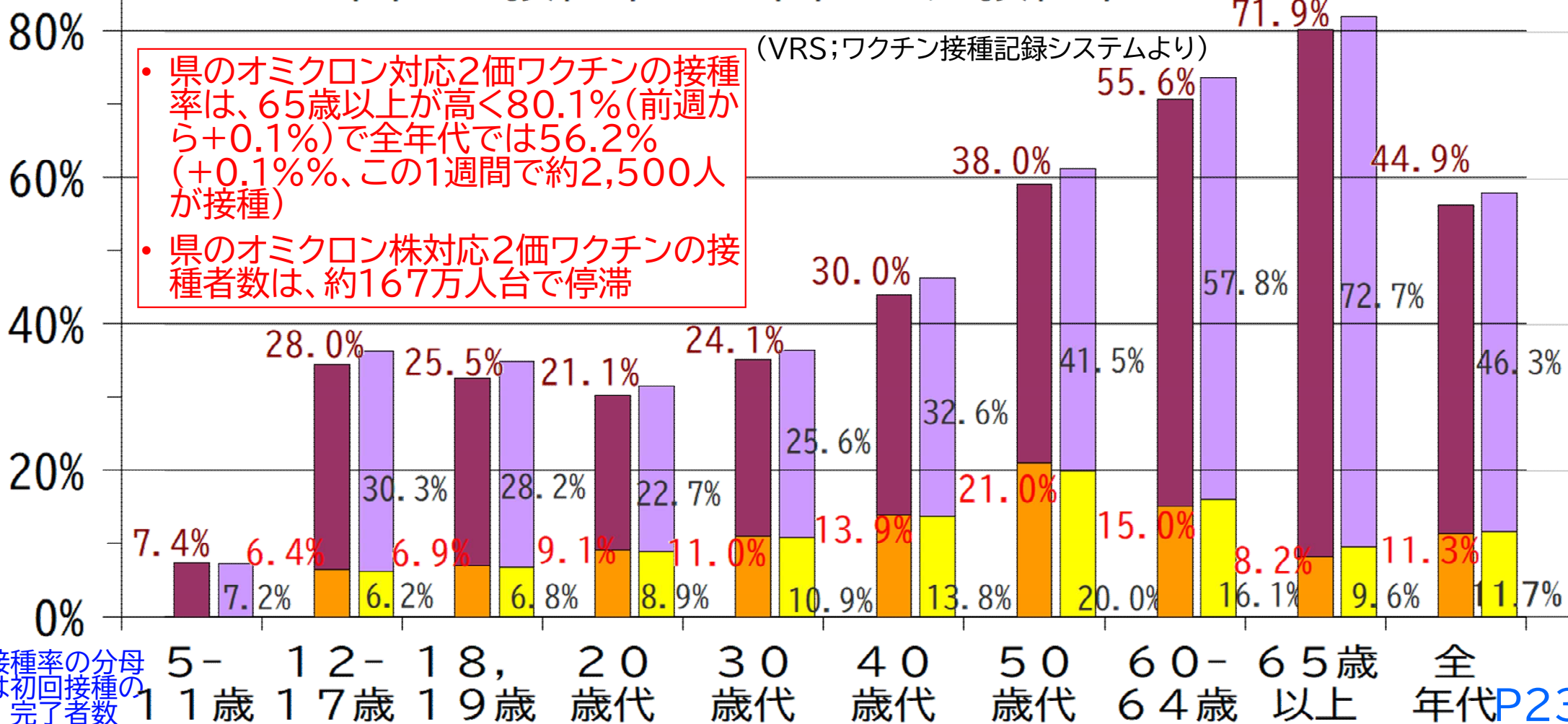


県と国 コロナワクチン2～5回目年代別接種率 (4/24時点)



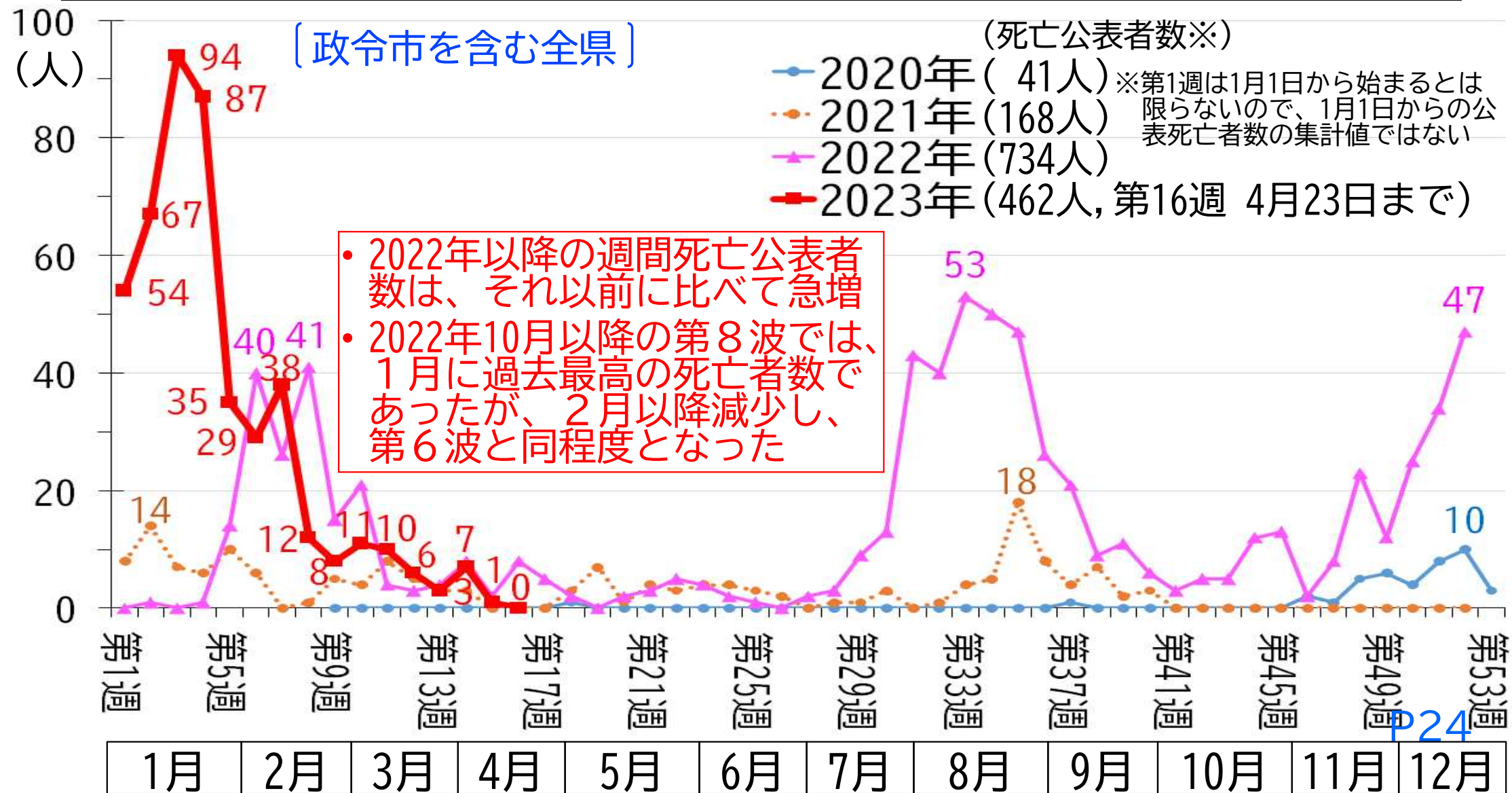
県と国 オミクロン株対応2価ワクチン年代別接種率 (4/24時点)

■ 静岡県BA.1接種率 ■ 静岡県BA.4/5接種率 (政令市を含む全県)
■ 全国BA.1接種率 ■ 全国BA.4/5接種率

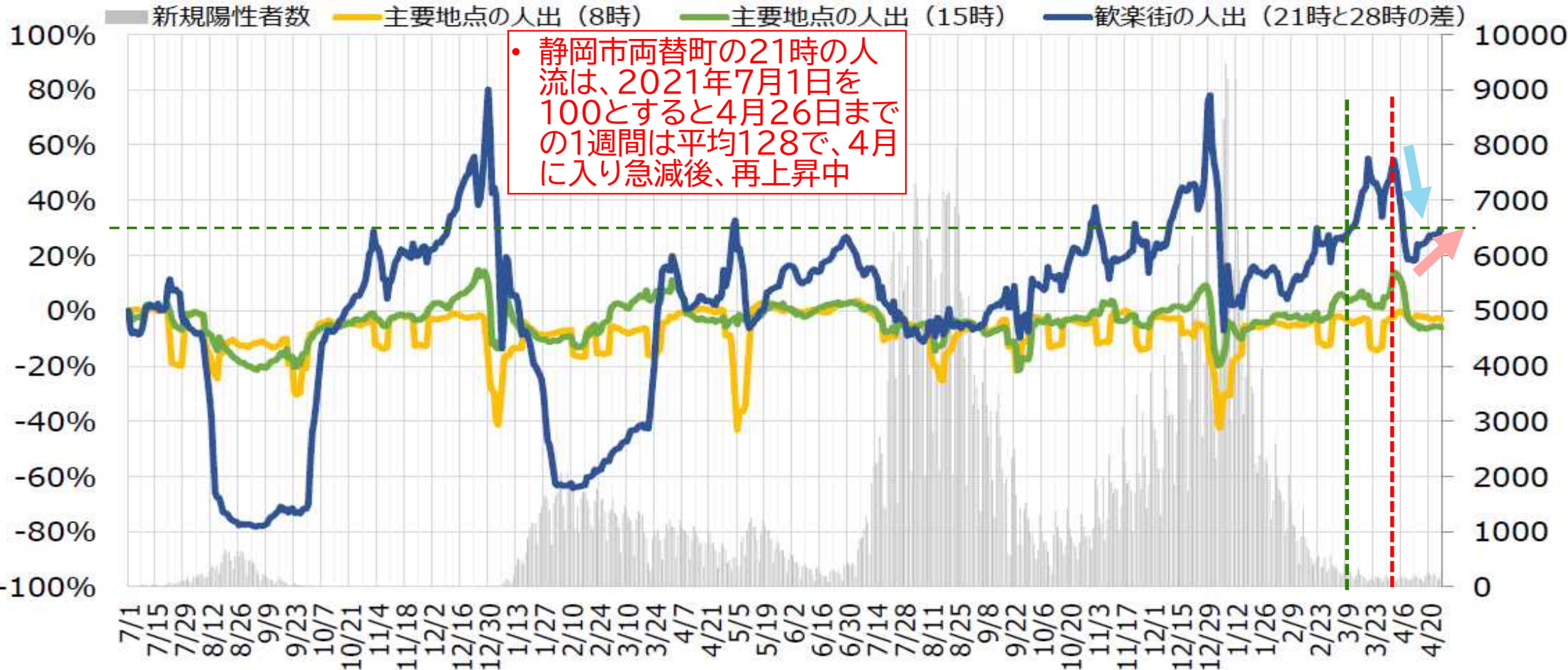


接種率の分母は初回接種の完了者数

静岡県 週ごとに公表された新型コロナ陽性死亡者数(2020.2~2023.4)



静岡市両替町の人流の状況 (4/26時点)

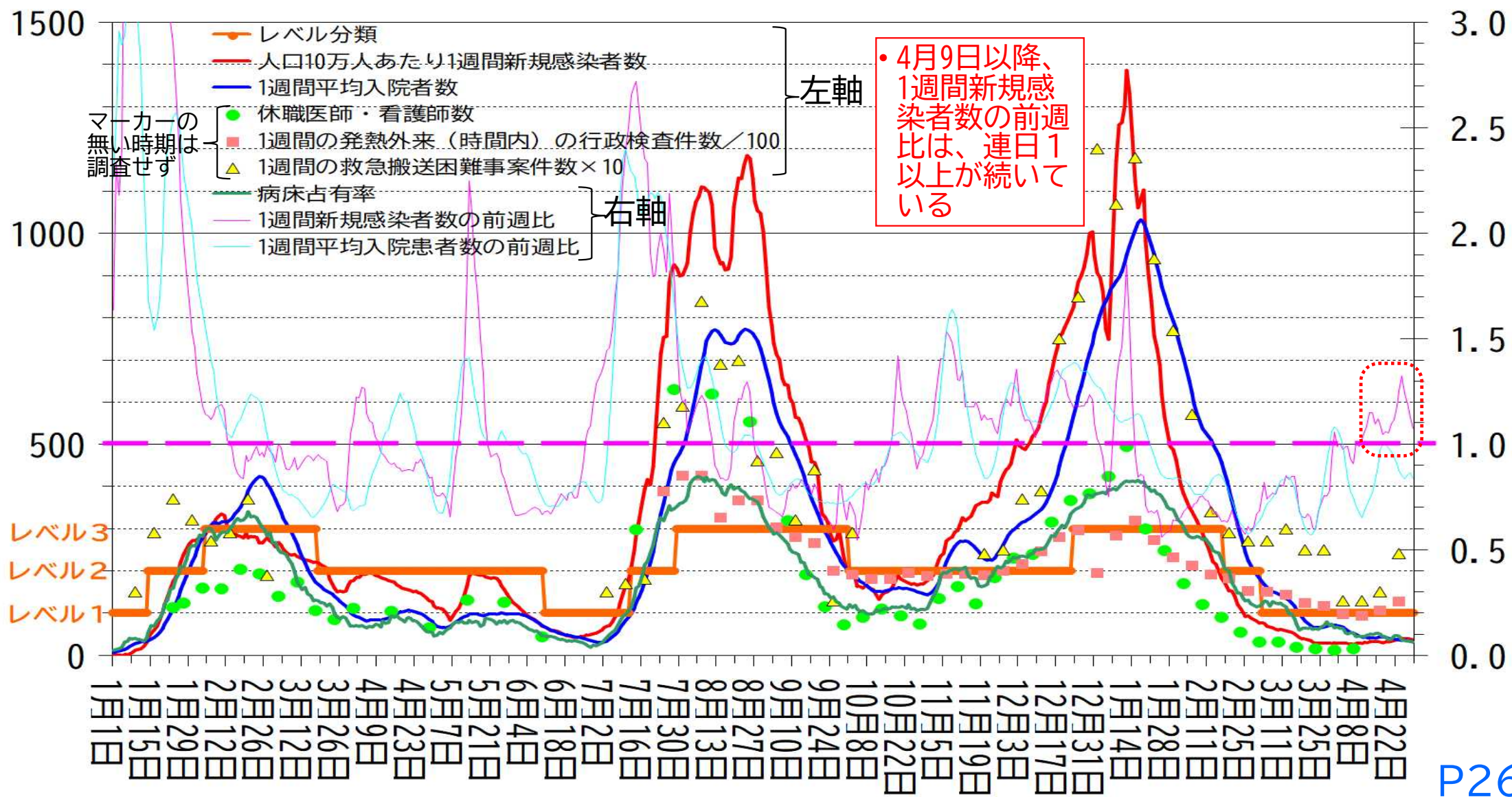


※グラフは、7月1日時点の人流の後方7日間移動平均 (6月25日～7月1日の平均値) に対する、各日の後方7日間移動平均の増減率

(主要地点：静岡駅周辺、歓楽街：静岡両替町)

モバイル空間統計® データ提供元：(株)NTTドコモ、(株)ドコモ・インサイトマーケティング ※「モバイル空間統計®」は株式会社NTTドコモの登録商標です。

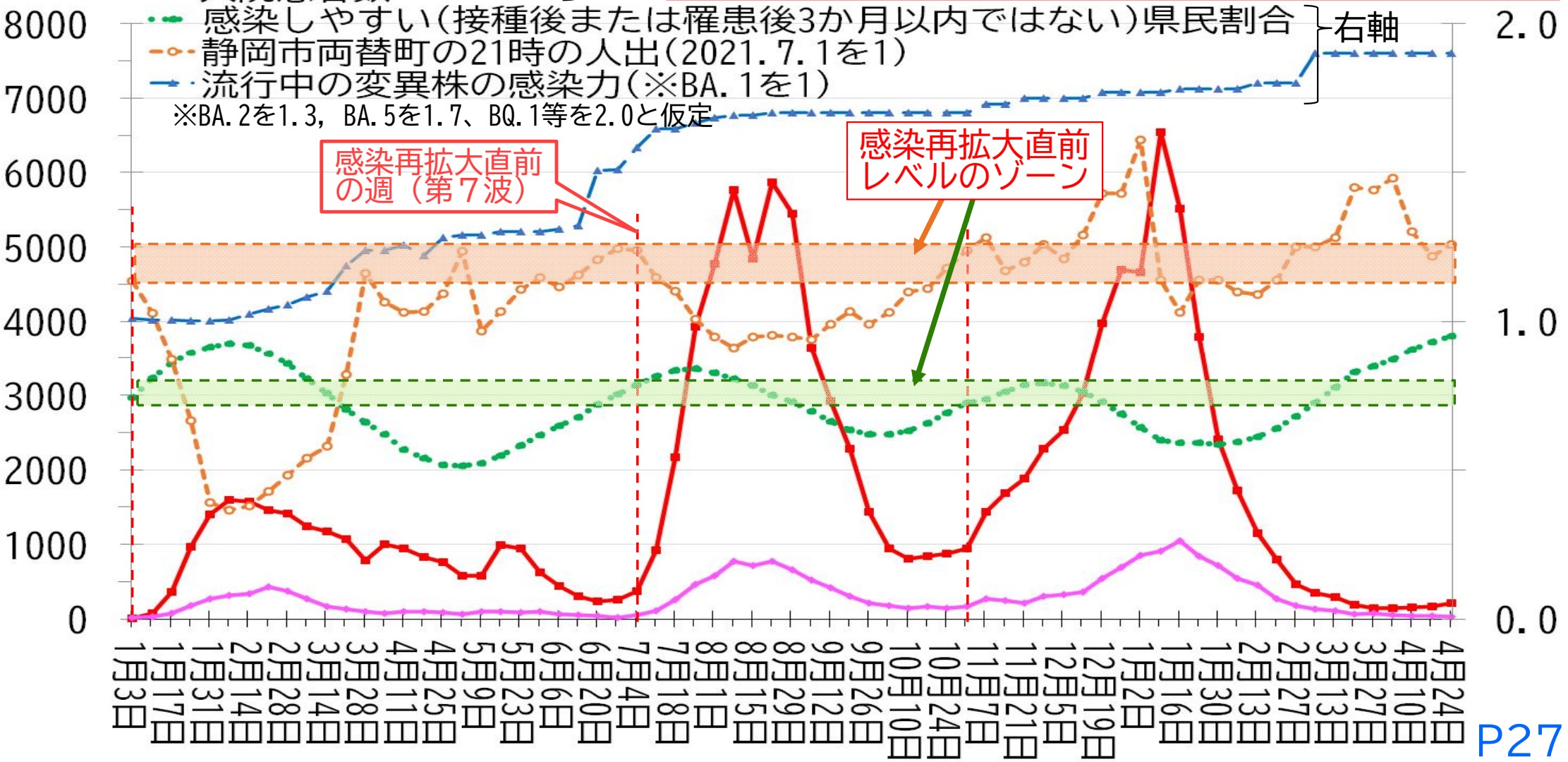
静岡県 感染者・入院者数等指標とレベル分類の推移 (2022.1/1~2023.4/28)



静岡県 感染者・入院者数と感受性県民、人出、流行株感染力の推移 (2022.1/3~2023.4/24)

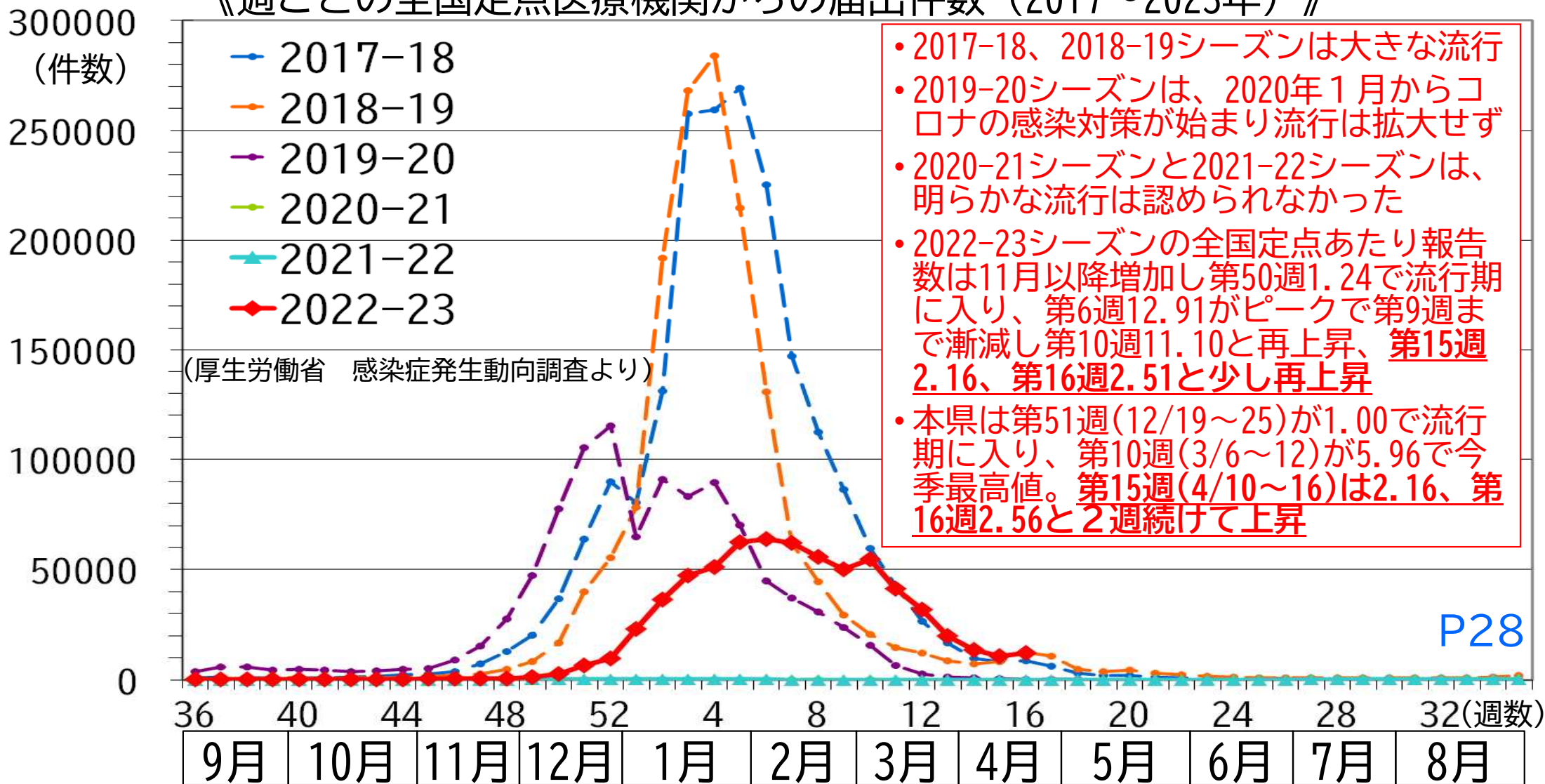
● 感染しやすい県民割合は増加し、人出高止まりし、感染再拡大直前レベルに達しているため、近々感染再拡大が始まる可能性あり

- 1日平均新規感染者数 (左軸)
 - 入院患者数 (左軸)
 - 感染しやすい(接種後または罹患後3か月以内ではない)県民割合 (右軸)
 - 静岡市両替町の21時の人出(2021.7.1を1) (右軸)
 - 流行中の変異株の感染力(※BA.1を1) (右軸)
- ※BA.2を1.3, BA.5を1.7、BQ.1等を2.0と仮定



今季のインフルエンザの流行状況（4/17～23 第16週時点）

《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数（2017～2023年）》

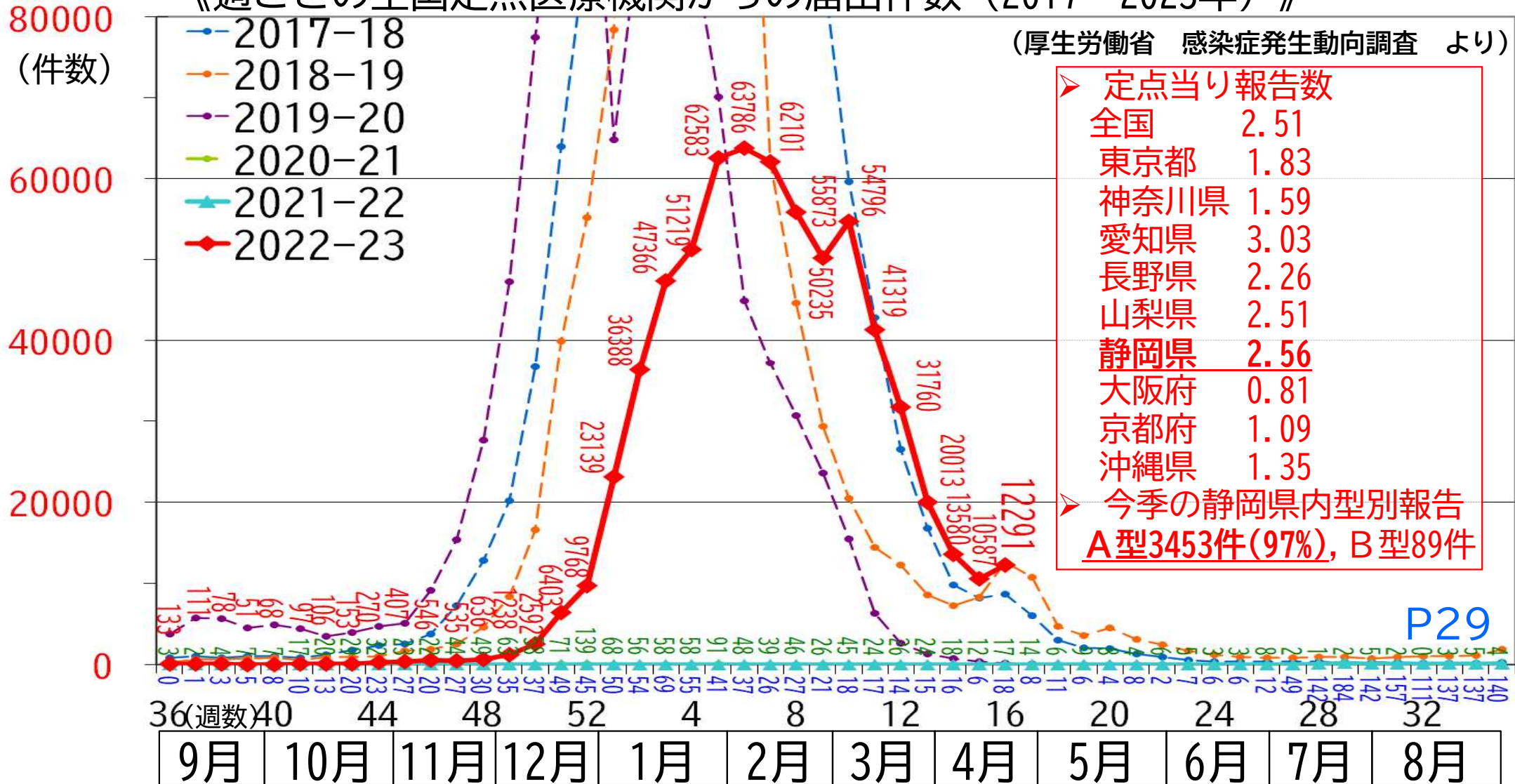


- 2017-18、2018-19シーズンは大きな流行
- 2019-20シーズンは、2020年1月からコロナの感染対策が始まり流行は拡大せず
- 2020-21シーズンと2021-22シーズンは、明らかな流行は認められなかった
- 2022-23シーズンの全国定点あたり報告数は11月以降増加し第50週1.24で流行期に入り、第6週12.91がピークで第9週まで漸減し第10週11.10と再上昇、**第15週2.16、第16週2.51と少し再上昇**
- 本県は第51週(12/19～25)が1.00で流行期に入り、第10週(3/6～12)が5.96で今季最高値。**第15週(4/10～16)は2.16、第16週2.56と2週続けて上昇**

今季のインフルエンザの流行状況（4/17～23 第16週時点）【拡大】

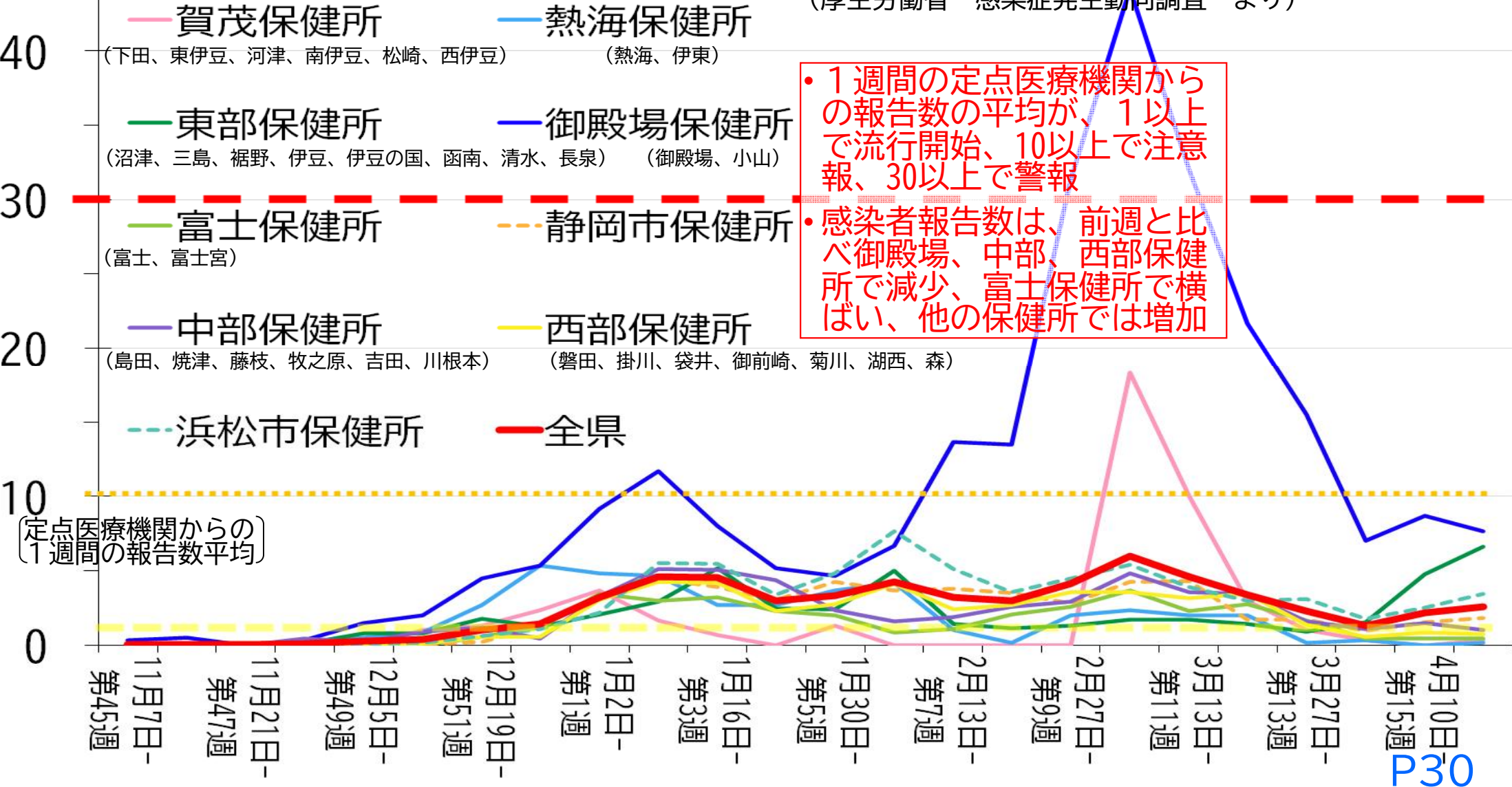
《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数（2017～2023年）》

（厚生労働省 感染症発生動向調査 より）

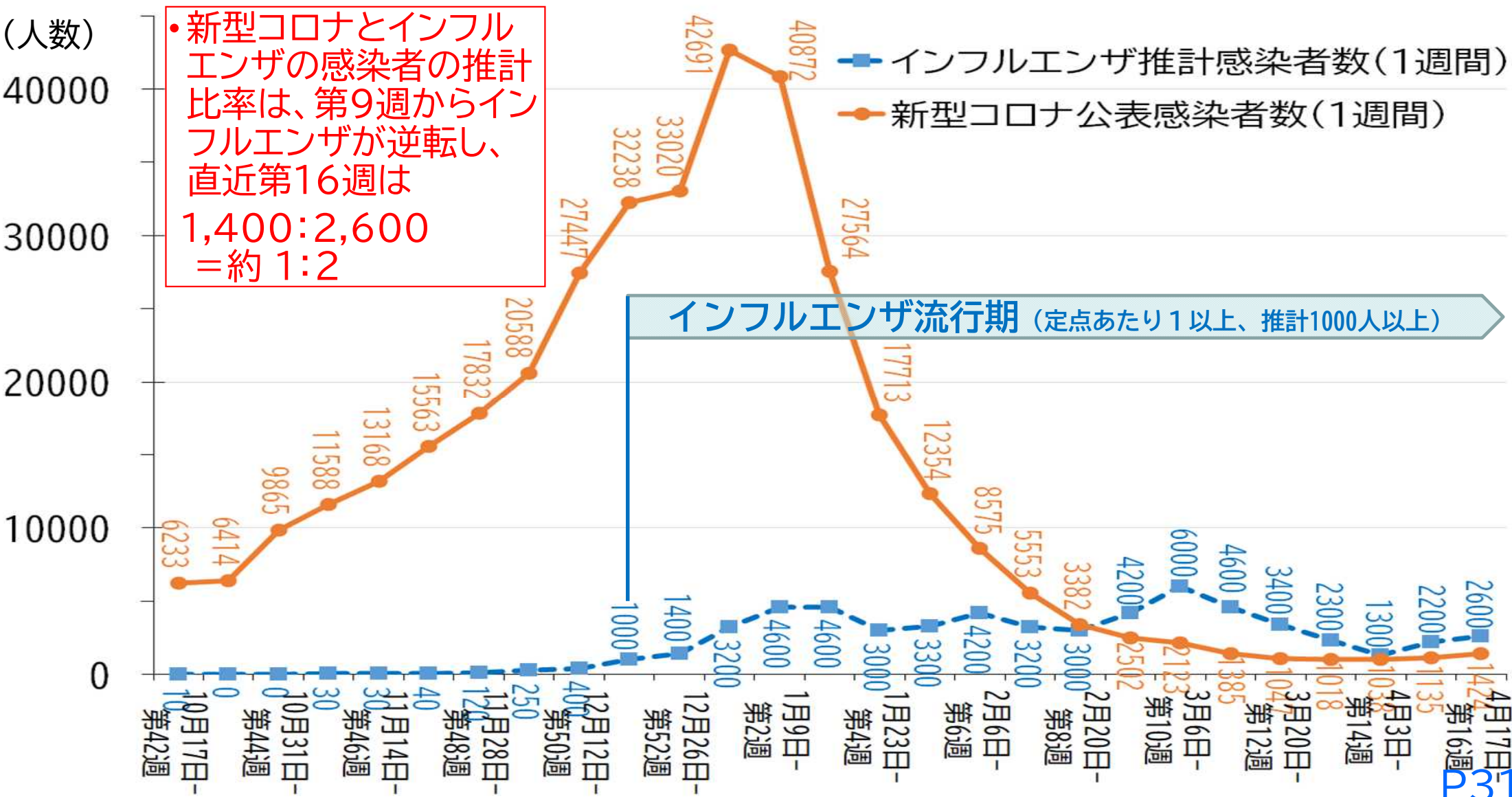


静岡県の保健所管内別 1週間のインフルエンザ感染者 定点医療機関からの報告数 (2022.11/7~2023.4/23)

(厚生労働省 感染症発生動向調査 より)



静岡県 新型コロナとインフルエンザの同時流行の状況 (2022.10/17~2023.4/23)



静岡県 新しい国レベル1 からレベル2 に上げる指標と目安値^{P32}

※ 前提条件； 1週間新規感染者数の前週比の1週間平均が1.0倍以上⇒4月20日～26日の平均値1.20倍

指標	目安値	第7波時の最高値	直近値(4月19日) [対前週増減値]	指標と目安値の考え方
① コロナ受入病院の コロナ入院者数の合計	200人	800人 (8月9日)	29人[-3] (4月26日)	<ul style="list-style-type: none"> クラスター者も含めて受入病院の全コロナ入院者で負担を評価 第7波最高値の2-3割を目安値
② 最大確保病床 使用率 $\left(= \frac{\text{確保病床入院者数}}{\text{最大確保病床数(国へ届出)}} \right)$	20% 分母911床 (2月2日～)	73.0% = 566/775 (8月27日)	3.2%[-0.3] = 29/911 (4月26日)	<ul style="list-style-type: none"> 今冬の最大確保病床数を分母とする確保病床使用率20%未満が、国の「判断に係る指標」とその目安値に適合すると考える
③ コロナ/インフル感染/ 濃厚接触による受入病 院の休職医師・看護師数	100人	630人 (7月28日)	調査休止	<ul style="list-style-type: none"> 国の「判断に係る事象」に該当 第7波最高値の2-3割を目安値
④ 1週間の発熱外来(時 間内)の行政検査件数	1.5万件 ^(夏季) 1.8万件 ^(冬季)	42543件 (7月25-31日)	12774件 [+2123] (4月17日-23日)	<ul style="list-style-type: none"> 国の「判断に係る事象」に該当 第7波最高値の2-3割を目安値
⑤ 1週間の救急搬送困難 事案の件数(4月から政令市のみ)	20件 ^(夏季) 30件 ^(冬季)	84件 (8月1-7日)	24件[+9] (4月17日-23日)	<ul style="list-style-type: none"> 国の「判断に係る事象」に該当 第7波最高値の2-3割を目安値

今週の評価レベル分類と医療ひっ迫の状況

区分	県専門家会議 今週(4月28日)の判断
[1] 評価 レベル	レベル1 で維持 感染小康期
[2] 医療 ひっ迫	コロナ受入病床は、県全体で病床使用率 10%未満で、ひっ迫はしていません。 発熱外来は、ひっ迫はしていません。 P33

マスク着用を推奨する4場面

① 医療機関
の受診時



② 医療機関や
高齢者施設
等の訪問時



③ 混雑している
電車・バス
の車内



④ 重症化リスク
のある人が、
コロナ流行時に
人混みに行く時



咳（せき）エチケットをお願いします

せき・くしゃみが出るときは 
3つのエチケットの1つを!

① 携帯しているマスクを着用



**② 咳・くしゃみのとき、ハンカチ
やティッシュで口鼻をおおう**



**③ ハンカチ等が間に合わないときは、
上着の内側やそででおおう**

